鹿児島県奄美パーク

# 事業報告書

# 2015

# LEAF

# 目　　次

**第１　鹿児島県奄美パーク概要　・・・・1**

**第２　平成２７年度の事業実績について　・・・・2**

**第３　奄美の郷企画事業　・・・・3**

１　季節感(年中行事)を取り入れたイベント　・・・・３

(1)　第９回奄美パークわらべシマ唄大会

(2)　あまみっ子フェスタ

(3)　ネリヤカナヤフェスタ

(4)　サマーコンサート

(5)　シマジマ（徳之島）だよりプレライブ

(6)　奄美パーク秋まつり～シマジマ（徳之島）だより～

(7)　フユウンメコンサート

(8)　初春唄あしび

(9)　奄美パーク新春寄席

(10)　奄美パーク春まつり～サンガツサンチ～

２　奄美の郷ライブステージ　・・・・１４

(1)　ゴールデンウィークしまうたミニライブ

(2)　出張！ちびっこ・放送ディ！学「あまみの大切な生き物たち」in 奄美パーク

(3)　奄美パークキッズダンスフェスタ２０１５

(4)　しまうたミニライブ（夏休み）

(5)　心のうた歌謡コンサート

(6)　大和とぅ宇検ぬ伝統文化ぬ祭典

(7)　奄美パークパフォーマンスバトル 2016

３　文化講演会　・・・・２１

４　わきゃステージ in パーク事業　・・・・２２

(1)　汝きゃ我きゃ島唄しょーろ

(2)　島唄あしび

(3)　エムズ（重夢逗）ダンス with 島唄

(4)　奄美芸能七色会歌謡ショー

(5)　縁～太鼓と唄で繋がる島々節～

(6)　アマービレ吹奏楽団スプリングコンサート

(7)　第８回キバリな祭～結魂～

５　その他自主事業及び共催事業　・・・・２６

(1)　文化の日イベント

(2)　第９回奄美パーク子どもクリスマス会

(3)　奄美パーク入館者 200 万人達成セレモニー

(4)　奄美パーク入館者 200 万人達成記念イベント

(5)　けんむんクイズラリー

**第４　田中一村記念美術館企画事業　・・・・３０**
１　奄美関連作家展及び招待作家展　・・・・３０
(1)　「はじめの一歩」展
(2)　あまみでアートプロジェクト
(3)　日米交流アート展 in 奄美 BEFORE and AFTER　～奄美を感じて～
(4)　アートクラブかごっま・名瀬美術協会交流展
(5)　奄美の作家 3 人展
(6)　管洋志・ニッコールクラブ奄美群島支部合同写真展
(7)　「日本クラフトデザイン協会と奄美に関わる作家」展
２　県美展奄美関連作家展　・・・・３５
３　田中一村記念スケッチコンクール作品展　・・・・３５
４　第 14 回奄美を描く美術展　・・・・３６
(1)　本展
(2)　巡回展
(3)　入選・入賞作品
５　その他企画展　・・・・４１
龍郷町立小・中学校図画工作・美術学習発表展
６　芸術文化講演及び美術講演　・・・・４１
シンポジウム「これからのアートが担うもの」
（あまみでアートプロジェクト関連イベント）
７　創作体験教室ほか　・・・・４２
(1)　創作体験教室・楽しい色紙絵「奄美を描こう」
(2)　夏休み親子「織り体験」
(3)　田中一村作品鑑賞会
(4)　創作体験教室「人物画講座」

**第５　各種イベントポスター　・・・・４５**

**第６　奄美パーク応援隊について　・・・・５０**

# 第１　鹿児島県奄美パーク概要

## １　施設の目的

鹿児島県奄美パークは，奄美の美しい自然や多様な文化・歴史をわかりやすく紹介した総合展示ホールや奄美シアター，人々の交流の場を提供するイベント広場からなる「奄美の郷」と，奄美の自然を描き集大成させた孤高の日本画家「田中一村」の作品を紹介する「田中一村記念美術館」の二つの施設を中核とする奄美群島全体の新たな観光拠点施設として，奄美市笠利町節田の旧奄美空港跡地に建設された。

**２　設　置　者**　鹿児島県

**３　開園年月日**　平成１３年９月３０日

**４　指定管理者**　奄美群島広域事務組合

**５　園長兼館長**　宮崎　緑（千葉商科大学国際教養学部長，ＮＨＫ「ＮＣ９」初の女性ニュースキャスター）

**６　園 地 面 積**　約７７，０００㎡

**７　総 事 業 費**　約７８億円

## ８　施設の概要

**(1)　奄美の郷**（延べ床面積約３，２００㎡）

白い貝殻をイメージした外観。建物内の梁などは，琉球松の大断面集成材でソテツの葉をイメージした造形。

〇総合展示ホール，奄美シアター（有料）

〇アイランドインフォメーション，イベント広場，レストラン，売店

**(2)　田中一村記念美術館**（延べ床面積約２，４９０㎡）

奄美の海をイメージした池に３棟の高倉が浮かぶ設計。床はイタジイを使用。

〇常設展示室，特別展示室（有料）

〇企画展示室，ガイダンス室，図書資料室，喫茶・ミュージアムショップ

**(3)　一村の杜**（面積７，０００㎡，平成１９年７月２０日完成）

６つのスポットで構成されている遊歩道。田中一村の奄美での作品に描かれている草木を植栽。それぞれのスポットで作品に描かれている風景を鑑賞。

**(4)　その他の施設**

〇多目的広場(約３，７８０㎡)，野外ステージ，展望台，駐車場(約２４０台)

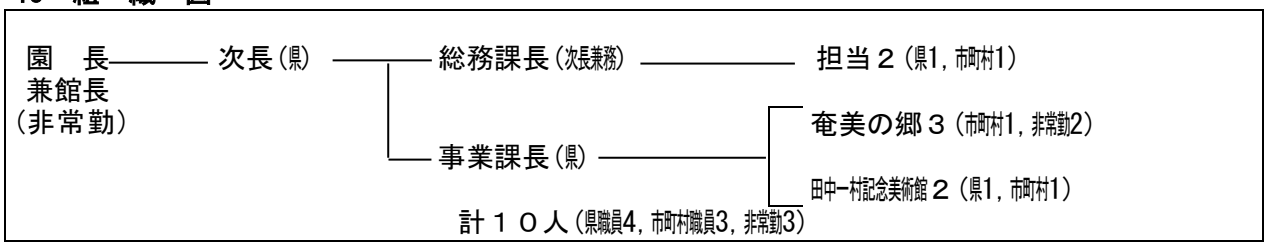
**９　観 覧 料 金**　共通観覧料：一般６２０円（２０人以上の団体は４９０円）
高・大学生４１０円（同３２０円）
小・中学生３１０円（同２４０円）

**10　休　園　日**　毎月第１，第３水曜日(祝日の場合は翌日)
(4/29～5/5，7/21～8/31，12/30～1/3 は開園)

**11　開 園 時 間**　９：００～１８：００（７月，８月は１９：００まで）

**12　入 園 者 数**　平成２８年３月末現在　延べ２，０２１千人(平成２７年度入館者数１０万５千人)

**13　組　織　図**



## 第２　平成２７年度の事業実績について

奄美パークは，世界的にも優れた奄美の自然や島唄・民俗芸能等の伝統文化，伝統産業など，奄美の魅力と奄美の新しいイメージを国内外に情報発信する奄美群島全体の観光拠点施設として，平成１３年９月に開園しました。奄美の美しい自然や多様な文化，歴史をビジュアルに紹介する「奄美の郷」と，奄美の自然を描き集大成させた孤高の日本画家，田中一村の作品を紹介する「田中一村記念美術館」の二つの施設を中核とし，また，奄美群島に居住する方々の交流の場でもあります。「奄美の郷」では，総合展示ホールや奄美シアター，アイランドインフォメーションで奄美を紹介し，イベント広場においてシマ唄，伝統芸能，踊りなどで構成するイベントを開催しています。「田中一村記念美術館」では，常設展示のほか，「企画展示室」において奄美関連作家展，招待作家展，奄美を描く美術展，創作体験教室などを開催しています。

さて，平成２７年度は，「第３０回国民文化祭・かごしま２０１５」の開会式や，当園を会場に行われたシンポジウムをはじめ，奄美群島の各地での多彩なイベントが開催され，先人から受け継がれてきた奄美の伝統文化と魅力が全国に広く発信されました。また，８月に歌手・岸谷香のコンサート，１２月には地元出身の２人組ユニット・カサリンチュのデビュー５周年記念コンサートが当園で開催されるなど，文化芸術の効果的な振興が図られるとともに，施設の利用促進を図ることができました。さらに，平成２６年７月に成田と奄美大島間に就航した格安航空会社「バニラエア」や奄美群島振興交付金を活用した航空運賃軽減事業の効果が続き，奄美の観光交流人口増加の要因もいくつかありました。ただ一方で，大型台風の襲来により臨時閉園を余儀なくされたり，平成２６年に被災した展望台は修復に時間を要し１０月まで閉鎖が続きました。

このような中，平成２４年度まで減少傾向にあった入館者数は，平成２６年度，平成２７年度と連続して１０万人を超え増加に転じています。また，平成１３年９月の開園以来，平成２８年１月２４日には入館者２００万人を達成し，平成２８年３月末で約２０２万人となりました。

開園１５周年を迎える平成２８年度は，奄美・琉球の世界自然遺産の平成３０年の登録を目指した取組や，平成３０年に明治維新から１５０周年という大きな節目を迎えること，平成３２年に開催される鹿児島国体への準備が着実に進められることなどで，次年度以降に向けて，交流人口の拡大が図られることが期待されています。引き続き，奄美の美しく豊かな自然や個性ある歴史・文化，食など多様な魅力を国内外に情報発信してまいります。また，当園は地元の皆様とともに歩んでいくことを目指しており，皆様の助言や力添えをいただき，奄美群島への追い風を逃すことなく，様々な事業を展開し，誘客に取り組んでまいりますので，今後ともどうぞよろしくお願いします。

奄美の郷

田中一村記念美術館

# 第３　奄美の郷企画事業

## １　季節感（年中行事）を取り入れたイベント

### （１）第９回奄美パークわらべシマ唄大会

日時：平成２７年５月５日（火・祝）９：３０～１５：００

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約４００名

内容：　奄美の将来を担う子ども（あまみっ子）たちが，シマ唄を通じて奄美固有の伝統文化への理解を深めるとともにその技法を学び，シマ唄文化を広く後世に伝える目的で毎年度開催しており，今年度で第９回目を数えた。

　参加者は，小学校低学年の部に１８名，小学校高学年の部に２８名，中学生の部に１３名の５９名で，前年度に比べ１１名も多く，３部門で競われた大会はどの部門でも熱戦が繰り広げられた。築地審査委員長からは，慣れないシマの言葉で唄うことは音程がぐらつきやすい，正しい音程で唄えるよう努力してほしい，目標を持つと上達も早くなるなどと講評があった。

　日ごろの練習の成果を堂々と披露する子どもの姿に客席から温かい拍手が送られ，また，ゲストに招いた前年度各部門優勝者の宮下和さん，俊山里穂さん，當原優芽さんの３名と，特別ゲストの藤田晶さん，辻美里さん，楠田莉子さんのシマ唄の披露が大会に花を添え，来場者は熱心に聞き入っていた。

### （２）あまみっ子フェスタ

日時：平成２７年５月１０日（日）１０：００～１５：００

場所：屋内イベント広場ほか　入場者数：約２２０名

内容：　ゴールデンウィーク期間中は，島内でもイベントが多彩で行楽客が分散する傾向にあることや，島外からゲストを招くことが困難であることなどから，昨年度に引き続き，「あまみっ子フェスタ」をゴールデンウィークが過ぎた日曜日に設定し開催した。

　午前の部は，奄美手熟師会による竹とんぼやわらじ作り，ソテツの実で作るナリ細工などの創作体験で始まり，ステージでは節田小学校の５・６年生がアマンディー太鼓を披露し会場を盛り上げた。続いて，科学実験パフォーマーのくす田博士によるアクロバット

サイエンスショーでは，子どもたちれが目の前で起こる不思議な現象やアクロバットに驚きの歓声をあげるなど，くす田博士ワールドへ引き込まれていた。

午後の部では，奄美市レクリエーション協会によるバルーンアートや輪投げ，こま回しなどの「むかし遊び」の体験コーナーも加わり，子どもたちだけでなく大人も参加し楽しんでいた。また，ステージでは，地元で活動するサークル「はぴたん」によるキャラクターショーがあり，かごしまＰＲキャラクターぐりぶーファミリーのまなぶー，すなぶー，ゆゆぶー，ほしぶーが地元の妖怪の「ケンケン」と妖怪体操を踊ったり，今年度開催される「第 30 回国民文化祭・かごしま 2015」のテーマソングになっている「カサリンチュ」の「タイムカプセル」のダンスを披露した。再び，くす田博士がアクロバットサイエンスショーを披露し，最後は伊津部小学校の「さざ波バンド」による優雅なダンスや，迫力のある三味線と太鼓の演奏であまみっ子フェスタを締めくくった。

親子連れを中心とした来園者は，様々な体験コーナーでチャレンジしたり，ステージのショーに盛り上がり，ゴールデンウィークの過ぎた休日の楽しいひと時を過ごしていた。

## （３）ネリヤカナヤフェスタ

開催期間：平成２７年７月１２日（日）～８月３１日（月）

### ①オープニングイベント

日時：平成２７年７月１２日（日）１３：３０～１５：３０
場所：屋内イベント広場　　入場者数：約３５０名
内容：　夏の観光シーズンに合わせ，７月１２日（日）から８月３１日（月）までの期間で開催する「ネリヤカナヤフェスタ」のオープニングイベントとして，出演に応募のあったフラダンス６団体とジャンベ演奏のクラブによるフラダンスパーティーを行った。

しっとりとした曲にあわせての優雅なフラダンスや，アップテンポな曲にあわせての元気なフラダンスなど，それぞれの団体のもつ個性に合わせた多種多様な内容で，子どもから大人まで幅広い年代の踊り子たちが日頃の練習の成果を披露した。毎年，いわき市で開催されているフラガールズ甲子園へ出場者を輩出しているアヌエヌエ喜界フラ教室からの出場者２名

は，他の団体とは一味違った動きを取り入れた息の合ったフラダンスを披露し，会場を盛り上げた。また，ゲスト出演した笠利ジャンベクラブのにぎやかな演奏には観客からの手拍子も加わり，会場全体が一つになる場面もあった。

ネリヤカナヤフェスタ期間中，常時展示・放映するアマミホシゾラフグ「海中のミステリーサークル」の写真や映像，奄美の海の写真展のほか，星砂探しや貝パズルを体験できる砂浜の設置により，オープニングイベントをさらに盛り上げることができた。

出演者は次の７組。リコ フラダンス教室，Hula-みんご，アヌエヌエ喜界，フラ教室チー子，ハウオリ AI スタジオ，Halau O Lehua O kalani 奄美大島校，笠利ジャンベクラブ

## ②展示関係

期間：平成２７年７月１２日（日）～８月３１日（月）
場所：アイランドインフォメーション及び奄美シアター付近
期間中の入場者数：１１，１３８名
内容：　アイランドインフォメーション付近では，写真家で奄美在住の別府亮氏の協力により，奄美の海の写真を展示した。撮影場所や同氏のコメント，撮影場所をポイントした奄美大島の巨大地図とともに写真６０枚を展示した。北部から南部まで，また，気候や時間帯によって全く違った表情を見せる奄美の海の写真を，興味深く鑑賞する来園者の姿が多く見られた。雨が続く時期に来園された観光客からは「天気が悪くて何も景色が見られなかったが，ここで見られてよかった」との声も聞かれた。

また，奄美シアター付近にはダイビングインストラクターの伊藤公昭氏が撮影したアマミホシゾラフグ「海中のミステリーサークル」の映像を放映し，ネイティブシー奄美のダイビングインストラクター浜砂かおり氏撮影の，「海中のミステリーサークル」の写真をコメントとともに展示した。平成２７年５月２１日にアマミホシゾラフグが米ニューヨーク州立大学・国際生物種探索研究所が実施した２０１５年（平成２７年）の「世界の新種１０選」に選ばれたこともあり，視聴用に設置したイスに腰かけ，熱心に見入っている来園者の姿もあった。

さらに，アマミホシゾラフグの紹介コーナーの隣には砂浜を再現し，星砂探しや貝殻パズルの体験コーナーを設置した。期間中，多くの親子が星砂探しや貝殻パズルに挑戦する姿が見られ，達成すると「やったー」と元気に喜ぶ姿もあった。

夏休み期間に合わせて開催したネリヤカナヤフェスタは，訪れた多くの観光客に奄美の海の魅力を印象付けたり，奄美在住・出身の来園者にも奄美の海の魅力や素晴らしさを再認識してもらえる催しとすることができた。

### ③夏休み親子手作り教室（オリジナル貝殻フォトフレームを作ろう）

日時：平成２７年８月２２日（土）１３：３０～１５：００
場所：レクチャールーム　参加者数：２６名
内容：　親子で簡単に作れ，夏休みの思い出として形に残せるようにと，奄美の海で採れた貝殻やシーグラス，砂，サンゴなどでフォトフレームを飾り付ける工作教室を開催した。

作業方法や注意事項などを説明した後，参加者たちは見本として用意したフォトフレームや完成品の写真などを参考にして作業に取り掛かった。家族で楽しそうに材料を選び，熱心にデザインやレイアウトを構成しながら協力して作業する姿は，とても微笑ましいものだった。なかには材料を持ち込み，こだわりの強い作品を作る参加者もいた。完成後，時間が余っている親子に２つ目，３つ目をすすめたことで，時間いっぱい工作を楽しんでもらえた。当日のキャンセルや不参加などがあったが，偶然来園していた家族の参加希望の申し出などもあり，８組２６名の参加であった。

どの家族も個性豊かな世界に一つだけのオリジナル貝殻フォトフレームが完成し，受付時に撮影した家族写真をさっそくフォトフレームにはめ込む家族や，改めて記念撮影をする家族も見受けられ，参加者全員が笑顔で手作り教室を終えることができた。

### （４）サマーコンサート

日時：平成２７年８月９日（日）１３：００～１６：１５
場所：屋内イベント広場　　入場者数：約３００名
内容：　多くの観光客・帰省客が訪れる夏休み期間中に、県内外の観光客等と地元の方々との交流を目的に「サマーコンサート」を開催した。地元で仕事の傍ら様々

な音楽活動をされている楠田哲さんの呼びかけで，１１組の地元アーティストたちが出演した。

高校生の村山恭介さんによるギターソロで開幕し，続いて２組目は，総勢６０名という大所帯のB→MATONDS のヒップホップダンス。３組目は，ja*fla によるバンド演奏で，カバー曲だけでなくオリジナル曲もあり，会場では音楽に合わせて手拍子をする場面も見られた。４組目は，カッペラーズがテレビや映画などで耳にしたことのある洋楽４曲をアカペラで歌い，会場全体が唄に聴き入っていた。５組目は，昨年度に続いての出演となった miho さんが有名なアニメ主題歌など３曲を歌い，カッペラーズの豊田さんのドラムとのコラボも演出した。６組目は，全国各地でライブ活動を行っている森拓斗さんがステージに上がり，カバー曲のあとにオリジナルの新曲を熱唱し，３曲目にはチョビヘイとコラボでオリジナル曲を披露した。そのチョビヘイが７組目として，オリジナル曲２曲を歌い，合間に入る二人のトークが会場をさらに盛り上げた。８組目は LOKAHI で，日高さんの甘い歌声に乗って踊るフラダンスは会場を魅了した。９組目は，Kitten blue の音楽と山下千穂さんの朗読による初のコラボで，オリジナル曲４曲を披露し，ミュージカル形式の音楽と朗読のコラボは会場をファンタジーの世界へと誘った。１０組目は，今年結成１０周年を迎える ASA 大島ジュニア新体操クラブで，１０周年ということもあり，島内外の卒業した先輩方も呼び寄せ，現メンバーとの夢のコラボが実現した。最後のステージとなった１１組目では，NANA がオリジナル曲３曲を披露した。３曲目のフィナーレでは，楠田莉子さんと ASA 大島ジュニア新体操クラブとのコラボによる「ロック調」を演出し，客席も一緒になって六調を踊り賑やかな締めとなった。

多彩なジャンルの曲の演奏やダンスは，数多くの出演者同士のコラボの演出も加わり，観客を飽きさせることなく，また，出演者のファンや帰省客，家族連れなどが次々と訪れ，会場は終始賑わっていた。

## （５）シマジマ（徳之島）だよりプレライブ

日時：平成２７年８月２３日（日）１３：３０～１５：００

場所：屋内イベント広場　入場者数：約１００名

内容：　予定していた「奄美パーク夏まつり～シマジマ（徳之島）だより～」は台風が接近していたことから開催を延期することとし，内容を変更して「シマジマ（徳之島）だよりプレライブ」を開催した。

プレライブでは，徳之島から２０１２年「熱血オヤジバトル」でグランプリを受賞したオヤジバンド「まぶらい」のメンバー５名のうち２名（丸野さん，加川さん）が駆けつけ，ギターと指笛で徳之島の島唄を現代ロック調にアレンジして演奏した。また，奄美市名瀬で三味線や太鼓の製造・販売を行い日本民謡協会徳之島支部長でもある盛浩司さんとバンド仲間が，三味線や太鼓，ハーモニカ，ギター，ドラムで島唄や新民謡，歌謡曲を演奏した。最後は六調で締めくくり，出演者と会場の観客が一緒になって盛り上がった。

台風の接近により，徳之島に在住する団体の出演が困難となり，内容を変更して急な出演依頼であったにも関わらず，元祖島唄やポップ調の島唄，ロック調島唄まで多彩なプログラムで観客を魅了し，開催を延期することとした「シマジマ（徳之島）だより」の開催がますます期待される内容であった。

## （６）奄美パーク秋まつり～シマジマ（徳之島）だより～

日時：平成２７年１１月２２日（日）１１：３０～１３：３０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２２０名

内容：　奄美群島の島々に焦点を当て，その島の伝統芸能に触れていただくことや，地域で活躍する人々を紹介するとともに，地元の人々や観光客との交流を図ることを目的としたイベント「奄美パーク秋まつり～シマジマだより～」を開催した。今年度は徳之島を紹介することとし，８月の開催を計画していたが，台風の接近により１１月に延期しての開催となった。

出演は，徳之島町がゆうなヨサコイと芝キヨさん，天城町が子宝三味線島唄クラブとトーフチャンプルー，伊仙町がトーバル劇団とダ・チャーム伊仙教室，奄美在住犬田布校区郷友会で，７団体総勢６０名がそれぞれの町の伝統芸能などを存分に披露した。オープ

ニングでは子宝三味線島唄クラブの子どもたちが日頃練習している徳之島の島唄５曲を見事に歌い上げ，来場者を魅了した。また，トーバル劇団のダイナミックで愉快な寸劇や，トーフチャンプルーの華麗な歌演奏，芝キヨさんの経験談を語った島口講話も大いに会場を沸かせた。ゆうなヨサコイのダイナミックなよさこい踊りや，ダ・チャーム伊仙教室の優雅なフラダンスのほか，奄美在住犬田布校区郷友会は，犬田布集落に伝わる豊年祈願行事の「イッサンサン」を披露し，島太鼓などのリズムにのりながら踊って餅をもらう様子などを賑やかに再現した。フィナーレは，子宝三味線島唄クラブの歌演奏で，ワイド節と六調を出演者と来場者が一緒になって踊り，イベントは最高潮に達した。

徳之島３町からの出演に加え，在住郷友会の友情出演もあり，徳之島一色に染まった「秋まつり」は多彩なステージを繰り広げ，素晴らしいイベントとなった。

## （７）フユウンメコンサート

日時：平成２７年１２月６日（日）１３：３０～１５：４５

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約３００名

内容：　冬の折り目という意味で作物の収穫に感謝する「フユウンメ」の時期に合わせて，ダンスや合唱，バンド演奏で構成したイベントを開催した。

ステージは，舞台袖から登場した西村ダンス教室の子どもたちによる元気いっぱいのダンスでスタートし，子どもたちが一生懸命音楽に合わせて踊る姿に，会場は和やかな雰囲気に包まれた。続いて，女声合唱団ラ・メールが「花の街」や「風をください」，「あの鐘を鳴らすのはあなた」など６曲を披露すると，会場は美しい歌声に静かに耳を傾けていた。３番目に出演したのは，奄美パーク初出演の奄美市少年少女合唱団と，昨年に引き続いて出演したフラワーガーデン♪によるコラボレーションで，「ひいらぎかざろう」や「クリスマスメドレー」など３曲を披露した。息のピッタリ合った歌に合わせてリズムを取る観客の姿も見られた。４組目には男性ボーカルバンドの初恋パワーズが登場し，「涙そうそう」のハワイ語バージョンや中島みゆきの「糸」などをメドレーでしっとりと歌い，

観客を魅了した。その後も西村ダンス教室のメンバー総勢４０名による迫力あるダンスステージ，ラ・メールによる新民謡や島唄などの合唱へと続いた。また，子育て中のママさん中心のフラワーガーデン♪の合唱では，クリスマスソングに合せて子どもたちも手作りのポンポンや小道具を使いながら一緒に楽しそうに歌った。最後は，奄美市少年少女合唱団が絵本「１１ぴきのネコ」の読み聞かせや合唱を披露した。ネコの耳やしっぽを付けた子どもたちが，大型スクリーンに映し出された絵本に合わせて歌った。

出演者も総勢１００人を超え，会場は多くの来場者で賑わい，一足早いクリスマスを満喫していた。また，イベント終了後も出演した団体や来場した家族連れがツリーの前で記念撮影をする姿が見られた。

## （８）初春唄あしび

日時：平成２８年１月３日（日）１３：３０～１５：４５

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２３０名

内容：　島唄グループゆらゆい代表の和田孝之さんの企画による新春恒例の「初春唄あしび」を開催した。司会は和田さんが務め，内容は，第１部が島唄，第２部が日本舞踊・歌謡ショー，第３部が島唄と観客を飽きさせないよう，島唄と新民謡，踊りを交互に組み合わせたプログラム構成であった。

第１部の島唄は，安原ナスエさんと松元良作さん，向珠理さんによる祝い唄「朝顔節」からスタートし，奄美しま唄グループゆらゆいメンバーによるカサン唄とヒギャ唄の競演に会場全体が聞き入っていた。

第２部の日本舞踊・歌謡ショーでは，桜華会奄美本部によるご祝儀の舞である「弥栄の舞」が披露され，扇を使った美しい舞に会場も魅入っていた。続いての歌謡ショーでは，曲のイントロとともに出演者が舞台上に登場すると，客席よりたくさんの声援があがり出演者が嬉しそうに唄う場面などが見られた。

第３部では，再び島唄が披露され，中尾聖子さんによる「請くままん女節」から始まり，最後はワイド節や六調を出演者と観客が三味線やチヂンの音に合せて，一緒に踊り，賑やかな締めとなった。

新年最初のイベント「初春唄あしび」は，新春にふ

さわしい内容で，地域住民や帰省客，島唄・新民謡ファンが島内外からたくさん詰めかけ，盛会に終えた。

なお，そのほかの出演者は次のとおり。石岡春代さん，ベッチェ生元さん，作まゆみさん，久志てつみさん，岩田幸喜さん。

## （９）奄美パーク新春寄席

日時：平成２８年１月１０日（日）１３：３０～１５：４５

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約３１０名

内容：　新しい年を迎え，普段，日本古来の伝統芸能に触れる機会が少ない奄美の方々に生の落語を提供することで，奄美パークを身近に感じてもらい，新春を笑って過ごしていただけるように新春寄席を開催した。

最初の一席は三遊亭歌扇氏（二ツ目）による落語で，小話で観客を笑わせ，リラックスさせたところで本題の「子ほめ」を披露した。「灘の酒」を「只の酒」と聞き間違えた隠居が，「損をしたくなかったら言葉遣いを直せ」と八五郎にアドバイスし，八五郎が人を褒めてタダ酒を飲む方法を教わる噺は，歌扇氏の巧みな話術で会場を盛り上げた。

三遊亭鬼丸氏（真打）の一席目では，まず，古典の名作「粗忽長屋」の舞台を現代に移し，「振り込め詐欺」という時事要素を取り入れた新釈ネタ「新・粗忽長屋」を披露し，続いて，「猿後家」を披露した。何の不自由もない後家さんが少しだけ顔が猿に似ていることを気にし，あだ名も猿後家。後家さんの前では「猿」の付く言葉やそれを連想させる言葉は禁句であるにも関わらず，「百日紅（さるすべり）」や「猿回し」「ようヒヒ（楊貴妃）」などを口にしてしまう噺。今年の干支の猿にちなんだ噺で会場には笑いが響いた。

中入り後は，林家楽一氏が紙切りを披露した。馬や鶴に続き，会場からのリクエストに応えて，「親子の猿」や「ドラゴン」「アマミノクロウサギ」，映画のキャラクターなどを紙から切り出し，プレゼントした。１枚の紙と１挺のはさみだけで，下書きなしであっというまに絵を切り描く「紙切り芸」に会場からは歓声が沸き起こった。また，切っている最中も黙ったりせず，客を飽きさせないように喋り続けるなど，単に紙

を切る技術だけではない芸であった。

三遊亭鬼丸氏の二席目では，古典落語の名作「天狗裁き」を披露した。寝ていた八五郎が妻に揺り起こされ，どんな夢を見ていたか尋ねられ，何も思い出せず，夢は見ていなかったと答える。妻は納得せず，押し問答になり，夫婦喧嘩になってしまう。その後も仲裁に入った大家や，奉行，天狗までもが見た夢を聞き出そうとする。気が付くと八五郎は家で寝ていて，妻に揺り起こされ，実は全部それが夢でしたというオチ。

新春寄席も恒例となり，毎年楽しみにされている方も多く，江戸前の落語だけでなく，即座に即興で切り出して見せる寄席芸能としての紙切りも加わり，子どもから大人まで魅了し，会場は終始笑いの渦につつまれ，大盛況であった。

なお，演目終了後には抽選会を開催し，来場者に出演者から提供いただいた景品などをプレゼントした。

## （１０）奄美パーク春まつり～サンガツサンチ～

日時：平成２８年３月６日（日）１１：００～１５：３０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約１８０名

内容：　サンガツサンチの桃の節句にちなんで，女性中心の華やかなステージと地場産のお菓子や惣菜などを販売する「ひなまつりバザー」を開催した。

ひなまつりバザーは午前１１時から開始し，奄美市笠利地区の味の郷かさりと奄旨海房魚匠の２店舗が出店した。ステージ開演前にはそれぞれのブースがステージ上でＰＲも行い，終了まで商品を買い求める人で賑わっていた。

ステージは，沢井箏曲院義永研究室による箏演奏で華やかにスタート。演奏曲「雪月花によせて」は本来日本の四季の美しさを伝統楽器の箏と尺八で表現した曲であるが，今回は尺八の代わりにフルートが入り，素敵な和と洋のコラボレーションとなった。続いては，今春高校を卒業する藤田晶さんが，囃子で後輩の長井舞さんと島唄を披露した。藤田さんの透き通った歌声が会場全体に響き渡り，観客も聞き入っている様子だった。３組目は，女子中学生グループMelavie の歌やダンスで，大島紬を洋装にアレンジした衣装を身にまとい，息のぴったりあった振り付けと元気な歌声

で，オリジナル曲「わきゃシマ」や「約束」，ポップス風に編曲された奄美民謡「イネスリ」の３曲を披露した。４組目の出演は，神奈川県からＩターンで奄美に移住しているシンガーのｋｅｉｔｏさんが出演。オリジナル曲「人」や「奄美チンダラ節」など５曲を披露し，独特の世界観で会場を包み込んだ。続いては，奄美カクテルで，艶やかな衣装に身を包んだ踊り子たちがベリーダンスを披露し，会場を魅了した。プログラム最後を飾ったのは，奄美市立金久中学校吹奏楽部で，顧問の中島先生の解説を交えながら７曲を披露した。楽器演奏だけではなく，曲に合わせて合唱をしたり，小道具を使用したりして，会場が楽しめるよう工夫が凝らされた構成となっていた。最後の曲「故郷」を演奏し終えると会場から暖かい拍手が起こり，和やかな雰囲気で締めくくられた。

## ２　奄美の郷ライブステージ

### （１）ゴールデンウィークしまうたミニライブ

日時：平成２７年５月３日（日）・５月４日（月・祝）
１部　１３：００～１４：００
２部　１５：３０～１６：００
場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２４０名
内容：　ゴールデンウィークは島内外の家族連れで賑わうことから，より多くの方に奄美の文化に触れていただけるよう，一日に２回の２日間「ゴールデンウィークしまうたミニライブ」を開催した。

奄美パークで，毎年，ライブステージを実施している龍郷町島唄保存会の皆さんに，島外の方にもわかりやすいように唄の意味や背景，三線やチヂンの構造などの説明を交えた演奏や島唄の披露をしていただいた。観光で来園された島外の方からは「島唄が聴けて良かった」「三線の練習を体験してみたい」などの感想をいただいたほか，島内在住の来園者からも「なかなか生で聴く機会がないので楽しかった」という感想をいただいた。また，遠足で来園していた老人福祉施設の入所者の方々や，奄美大島に大型客船で寄港し来園された団体客なども一緒に六調などを踊り，大変盛り上がった。

しまうたミニライブの開催で奄美の伝統文化を紹介することができたことに加え，出演者が着用している大島紬にも観光客の関心は高く，奄美の特産品の情報発信にも寄与することができた。

### （２）出張！ちびっこ・放送ディ！学「あまみの大切な生き物たち」in 奄美パーク

日時：平成２７年５月３１日（日）１３：３０～１５：３０
場所：屋内イベント広場　　入場者数：約５７０名
内容：　「シマの魅力を再発見」をテーマに，地元のコミュニティラジオ局あまみエフエムの企画で，ラジオ番組「放送ディ！学」を参加型のステージとして開催した。奄美の希少野生生物について広く知ってもらい，自然保護への関心を高めてもらうことを目的に，学校の授業形式でプログラムを進めていった。

１時間目は「あまみにしかいないいきもの」と題し，

環境省奄美野生生物保護センターの紹介に始まり，同センターのマスコットキャラクター「あまくろ」の登場に集まった観客が手を振る姿も見られた。また，マルチビジョンに生き物の画像を映し出したり，アマミノクロクサギやアマミトゲネズミ，ケナガネズミなどの剥製を使って，それぞれ生き物の生態や特徴などが紹介された。

２時間目の「このいきものたちを，まもろう！」では，マングース捕獲の現状やマングース以外の被害状況などの説明があった。奄美にしか生息していない希少野生生物が，野生化したネコや人間が持ち込んだ生き物により数が少なくなってきていること，奄美大島のハブ対策として放たれた３０頭ほどのマングースが自然繁殖を繰り返し，推定生息数１万頭を超え島全域に広がる勢いとなったが，マングースバスターズの活動で，最近ではマングースの数も少なくなりマングース探索犬を使っていることが紹介され，実際に活躍しているマングース探索犬も登場した。

３時間目の「みんなでクイズ！」では，希少生物の鳴き声を聞いてどんな生き物か当てるクイズや，剥製などを手触りだけで当てるクイズが行われた。景品としてお菓子が用意されていたこともあり，会場の子どもたちが元気に手を挙げ，舞台際まで集まるなど積極的に参加していた。

４時間目の「みんなで体操！」では，ＡＳＡ奄美スポーツアカデミーから２人の講師を招き，音楽にあわせて楽しく簡単にできる体操を行った。多くの子どもたちが舞台際で体操し，あまくろの唄の振付レクチャーもあり，多くの観客が楽しそうに踊っていた。

イベントは子どもから大人まで幅広い年代を対象に楽しく解りやすい内容で，あまみエフエムのパーソナリティーである丸田泰史さんと渡陽子さんが総合司会を務め，２人の息の合った掛け合いが終始会場を盛り上げた。最後はプレゼントとしてアマミノクロウサギの糞をモチーフとしたお菓子を配布した。なお，終了後もあまくろやマングース探索犬との記念撮影もあり，多くの親子連れで終始賑やかな雰囲気に包まれ大盛況のうちに終了した。

## （３）奄美パークキッズダンスフェスタ２０１５

日時：平成２７年６月１４日（日）１３：３０～１５：３０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約４９０名

内容：　応募のあったキッズ中心の団体・個人がダンスを披露する「奄美パークキッズダンスフェスタ２０１５」を開催した。未就学児から小・中学生の児童・生徒約１００名が出演した。ダンスのジャンルは，フラダンスやジャズダンス，ストリートダンス，社交ダンス，八月踊りなど多彩で，多くの観客を魅了した。

　宮崎園長の挨拶の後，サンビームキッズダンス＆ＣＯＲＥによる軽快で爽やかなジャズファンクダンスを皮切りにスタート。ダンスを披露する子どもたちの笑顔や軽やかなステップに観客も一緒になって楽しんだ。また，可愛らしいフラダンスや大人顔負けの社交ダンスの披露もあり多彩なプログラムとなった。最後は，出演者の子どもたちや観客が六調を踊り，フェスタのフィナーレを飾った。

　会場は多くの家族連れでにぎわい，時間が経つのも忘れるほど，次から次へと素晴らしいダンスのオンパレードとなり，子どもたちの普段の練習の成果を披露するよい機会とすることができた。

　出演者は次の７組（出演者順）。サンビームキッズダンス＆ＣＯＲＥ，童子八月踊り研究会，ハーラウオレフア オ カラニ奄美大島校，トゥルーフレンズジュニア，Hula-みんご，STAMpee→，叶慈平

## （４）しまうたミニライブ（夏休み）

日時：平成２７年８月２日（日）・１６日（日）・３０日（日）

　　いずれも１３：３０～１４：００

場所：屋内イベント広場　入場者数：約３００名（３回の合計）

内容：　夏休みは島内外の家族連れで賑わうことから，より多くの方に奄美の文化に触れていただけるよう，「夏休みしまうたミニライブ」を開催した。

　昨年度までは奄美大島北部のカサン唄を歌う唄者に出演依頼していたが，今回は南部の瀬戸内町よりヒギャ唄を歌う「永井三味線教室」の方々に出演していただいた。三味線教室ということもあり，ライブは生徒ら５～８名による三味線の合奏で始まった。なかな

か聴くことのできない三味線の合奏は，三味線・歌・囃子で作り上げる「しまうた」とは違ってとても迫力あるものだった。中盤は奄美シマ唄日本一大会でシマ唄大賞を受賞し，同教室の代表でもある永井しずのさんが，ヒギャ唄とカサン唄の違いや唄の意味などの解説を交えて力強い「しまうた」を披露し，会場を魅了した。ライブの最後には，しまうたイベント恒例の六調を演奏した。六調では奄美パーク応援隊の参加もあり，中村勝昭さんが太鼓を演奏し，踊りでは平久美さんらが率先して踊りながら観客らを輪の中へ誘導していただいたことで，会場がより一層盛り上がった。観客からは「３０分は短い。もっと聴いていたかった」「唄の意味も分かって感動した」などの声もあり，また，永井しずのさんのファンらも多く集まり，大変賑やかなイベントとなった。

８月の日曜日で，奄美パークでのイベント予定のない日にミニライブを設定したことで，８月は毎週日曜日にイベントが開催されているというイメージ付をすることができ，団体客の少ない夏休み期間中における集客力の向上を図ることができた。

### （５）心のうた歌謡コンサート

日時：平成２７年９月１３日（日）１３：３０～１５：３０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２８０名

内容：　この時期は敬老の日にちなんだ様々な催しが各地域で開催されていることもあり，奄美の新民謡や奄美歌謡を中心とした「あの頃君も若かった！心のうた歌謡コンサート」と銘打ったライブステージを開催した。

ステージ開演の３０分前には奄美の特産品であるミキを振る舞った。ミキは甘くて夏バテにも効果があると言われており，多くの方に喜ばれた。

司会は出演者でもある泉清次さんが務め，会場に笑いを誘いながらステージが進められた。プログラムは第１部が昭和歌謡，第２部が新民謡・奄美歌謡で構成され，お年寄りやその家族に楽しんでいただける内容となった。出演者は，昔懐かしの名曲や奄美を代表する曲，オリジナル曲などを披露し，会場を沸かせた。出演者が唄うと，唄に合わせて会場が

手拍子をしたり，司会が客席にマイクを向けると，出演者と一緒になって楽しそうに唄ったりする場面などが見られた。唄のほかには，Dragonによるマジックショーや，夢魅神楽による踊り，ロイヤルフラ仲山教室によるフラダンスが披露された。マジックショーでは，観客の一人がアシスタントに指名され，会場をさらに盛り上げた。プログラムの最後は，泉清次さんら５名の歌手による「島のブルース」を客席と一緒になって歌い，賑やかな締めとなった。

敬老の日を前に開催したステージは，懐かしい昭和歌謡や踊り，マジックショーなど多彩なプログラムとなり，幅広い年代が楽しめる内容とすることができた。

出演者は次のとおり（順不同）。平紀久美さん，島ひとみさん，前田しずよさん，泉清次さん，夢魅神楽，ロイヤルフラ仲山教室，Dragon

## （６）大和とぅ宇検ぬ伝統文化ぬ祭典

日時：平成２７年１１月１日（日）１３：３０～１５：４０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２００名

内容：　「第３０回国民文化祭かごしま２０１５」の開催期間にあわせて，大和村伝統文化保存会及び宇検村伝統文化保存会の協力による奄美の郷ライブステージ「大和とぅ宇検ぬ伝統文化ぬ祭典」を開催した。

オープニングでは，大和浜集落の「大和浜棒踊り保存会」の青年１２人が棒踊りを披露した。明治３５年頃，大和浜の士族によって創始された棒踊りは，毎年行われる豊年祈願祭などで披露されている伝統芸能で，集落の若者により継承されている。踊りの唄の歌詞は，君が代，霧島，白帆３曲で組み立てられ，踊りの芸態は３部で構成されていた。踊りが最高潮に達すると，鎌とナギナタが早いスピードでかち合い，勇壮そのものの踊りに観客の視線は釘付けとなり，拍手や歓声が送られた。次に，大和村の前里祐子さんによる日舞の披露，宇検村の福山克哉さん親子の島唄へと続き，親子４人で湯湾集落に伝わる「あんちゃな」や「朝花節」，「イトゥ」など島唄６曲を披露し，息の合った三味線の演奏と歌声が会場を和やかな雰囲気に包んだ。島唄に続いて，柔らかな雰囲気から一転し，渡博

道さんが奄美の方言「島口」で「さざんかの宿」を歌ったほか，司会役の俊岡さんと島口の会話「宇検村ゆむた」を披露すると，絶妙なふたりのやり取りで会場は笑いの渦に包まれた。続いて，地元大和村の歌手，福永則雄さんの歌にあわせて妻の美和代さんと前里祐子さんの艶やかな踊りが会場をしっとりとした雰囲気へと導き，大和村の唄者，宮田益慶さんと荒田スミ子さん，東條豊勝さんが，島唄を披露した。ステージのおおとりを飾ったのは実力者の石原久子さんで，島唄を華麗に歌い上げ，一緒に出演した昇喜代子さんとの掛け合いも素晴らしく，観客を楽しませた。

この日のステージは，石原久子さんと福山克哉さん親子の三味線・太鼓の演奏にあわせて，来場者と出演者が一緒に六調を踊り，賑やかに締めくくられた。

## （７）奄美パークパフォーマンスバトル２０１６

日時：平成２８年２月７日（日）１３：３０～１５：５０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約５５０名

内容：　応募のあった１３組の団体・個人がそれぞれのパフォーマンスを披露し，出場者同士の投票で優勝・準優勝を決定する「奄美パークパフォーマンスバトル 2016」を開催した。出場者は，子どもから高齢者まで幅広い年齢層で，楽器演奏やダンス，詩吟，手品など，多彩なジャンルの演目を披露した。

優勝は，映画「座頭市」の曲に合せてアクロバットや体操を披露した初出場のＳｅｉ－ｃｈａｎで，主人公の市が座頭（盲目）であることを木刀を使って表現した。殺陣の動きや，頭に巻いていた布で自ら目隠しし，転回から続けて前方宙返りするという大技に，会場は大きな歓声と拍手が鳴り響いた。準優勝は，最多出場者数を誇りフラダンスを披露した HaLau 0 Lehua 0 Kalani 奄美大島校だった。色鮮やかな衣装を身にまとい，息の合ったフラダンスで会場を魅了した。また，１月２４日に奄美パーク入館者数が２００万人を達成したことを記念し，急きょ設けた入館者数２００万人達成記念園長特別賞は，喜界島からの参加で，夏に行われるフラガール甲子園出場へ向け日々練習に励んでいるというアヌエヌエ フラ教室と，ピエロに扮してコミカルな動きで手品を披露し，子どもたちはもちろん

観客全員を驚かせたピエロのてっちゃんが受賞した。そのほか，昨年度の優勝者でゲスト出演したリッコモダンジャズバレエスタジオは，タップやモダン，ストリートなど様々なダンスを披露し，最後まで観客を楽しませた。

その他の出演者（ジャンル）は，坂井文麿（ドラム演奏），修武台吟詠奄美浩嶺会（詩吟），はなさ ほーらさ 喜界島（フラダンス），生元為市（歌），リコフラダンス教室（フラダンス），奄美フォークダンスクラブ（フォークダンス），森田佐喜雄（ハーモニカ演奏），ＨＵＬＡ－みんご（フラダンス），トゥルーフレンズ（社交ダンス）。

## 3　文化講演会

### 「メンタリズムで人生を変える方法」

日時：平成２７年１０月４日（日）１７：００～１８：２０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約６６０名

内容：　メディアなどに多数出演し，島の人にも知名度が高く，老若男女問わず集客の期待ができることから，メンタリストＤａｉＧｏ氏による「メンタリズムで人生を変える方法」と題した講演会を開催した。

同氏は，自己紹介やこれまでの経験談を交えながら人生を変える方法について語り，来場者は熱心に耳を傾けていた。また，来場者も参加してマジックペンの色を当てるパフォーマンスなども披露した。人の性格や色の特性などから，選んだマジックを当てるというものだったが，同氏が見事全部言い当てると会場から拍手と驚きの声が上がった。後半は，日常に使えそうな心理学について語り，時折冗談を混ぜると会場からは笑いが起こった。講演会の最後には，同氏が会場からの質問タイムが設けると，テレビで活躍する話題の人に質問できるとあって，予定時間を超えるほどの多くの質問が寄せられた。

講演会が終わると，「トークが面白かった」「来場者参加のパフォーマンスには驚いた」など，来場者は友人や家族と楽しそうに話し，満足した表情で会場を後にしていた。

## ４　わきゃステージ in パーク事業

### （１）汝きゃ我きゃ島唄しょーろ（主催：龍郷町島唄保存会）

日時：平成２７年７月５日（日）１３：３０～１５：３０

場所：屋内イベント広場　入場者数：約１５０名

内容：　龍郷町島唄保存会による島唄のステージ「汝きゃ我きゃ島唄しょーろ」が開催された。同会会長の伊勢勝義さんが司会を務め，総勢２０名による島唄・三味線による構成であった。

　オープニングは，男女６名による「朝花節」。中盤には子どもたちと観客による唄のかけあいが行われ，馴染みのある「いきゅんにゃ加那」を子どもたちと一緒に唄い，会場は和やかな雰囲気に包まれた。

　最後は，来場者も一緒になって六調で締めくくられ，始終楽しいひとときを過ごしていた。

### （２）島唄あしび（主催：あやまる会・県教職員共助会）

日時：平成２７年７月１９日（日）１３：３０～１５：３０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約１５０名

内容：　あやまる会と県教職員共助会主催によるライブステージ「島唄あしび」が開催された。

　子どもから大人まで約５０名による島唄や島口のステージで，内容も盛りだくさんであった。奄美パークわらべシマ唄大会で入賞した子どもや，奄美民謡大賞などで入賞した唄者などの出演のほか，親子や兄弟による出演もあった。また，今回初参加のＡＳＡ大島ジュニア新体操クラブの子どもたちによる新体操も披露され，賑やかなステージをさらに華やかにしていた。最後は，出演者と来場者が島育ち，島のブルースで一緒になって踊り，六調でフィナーレを飾った。

　１０年以上も続く，この時期恒例のステージは，楽しい雰囲気の中で子どもを中心とした出演者が日頃の練習の成果を発表し，来場者と終始一体となりながらイベントを盛り上げ楽しんでいた。

**（３）エムズ（重夢逗）ダンス with 島唄**（主催:M's Party）

日時：平成２７年９月２０日（日）１３：３０～１５：００

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２１０名

内容：　埼玉県で活動するダンスチームM's Party主催による「エムズ（重夢逗）ダンス with 島唄」と題したステージが開催された。

　奄美市笠利町出身の森エイ子さんが企画し，M's Party の中のよさこいチーム「重夢逗」と，地元の唄者の福山幸司さん，平久美さんらが出演した。オープニングは，福山さんと平さんによるしっとりとした島唄で始まり，島唄に続いて，重夢逗による華麗なよさこいの流しとステージで観客を魅了した。また，地元シンガーソングライターの国村守孝さんのギターと重夢逗のラテン創作ダンスのコラボにより会場を沸かせる場面もあった。歌とダンスのコラボの後は，福山さん平さんによる「島のブルース」の懐かしい響きや六調に合わせて出演者と来場者が一緒になって踊り，最後は，三村憲一さんの歌と三村奈央さんのあでやかなダンスでイベントを締めくくった。

　イベント当日は，シルバーウィーク中ということもあり，島内外から多くの来場者があった。来場者も普段見れない迫力あるよさこいの舞やラテン中心の創作ダンスを生で見ることができ感動していた。

**（４）奄美芸能七色会歌謡ショー**（主催：奄美芸能七色会）

日時：平成２７年１０月１８日(日)１３：３０～１５：４０

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２００名

内容：　奄美芸能七色会主催で，藤扇流龍郷公民館講座生及びロイヤルフラ仲山教室，内田和信，一条流寿扇会の共催による「奄美芸能七色会歌謡ショー」が開催された。

　司会は奄美芸能七色会会長である米倉キミエさんと娘の米倉さつきさんが務め，出演者総勢２５名による奄美新民謡や日本舞踊，フラダンス，創作舞踊，島唄などバラエティに富み，観客を飽きさせない様々なジャンルが組まれたプログラム構成であった。プログラム中盤では，観客の１人が島唄に合わせて囃子をする場面や，出演者の唄に合わせて会場全体

が楽しそうに手拍子をする場面なども見られた。フィナーレで六調の音楽が流れると，観光客が楽しそうに輪の中に入り出演者と一緒になって踊る姿などが見られ賑やかな締めとなった。

## （５）縁～太鼓と唄で繋がる島々節～

（主催：舞弦鼓イベント実行委員会，後援：ヨロン島観光協会）

日時：平成２７年１１月２２日（日）１４：００～１６：００

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２３０名

内容：　舞弦鼓イベント実行委員会主催（ヨロン島観光協会後援）による「縁～太鼓と唄で繋がる島々節～」が開催された。

　エイサーを土台にした太鼓演舞団体「舞弦鼓」は，エイサーと与論の伝統文化を取り入れた演舞グループで，主に与論島出身者で結成されており，関東，関西，与論島を拠点に活動している。イベントの出演は，舞弦鼓，道の島太鼓，うるまエイサー，奄美しま唄グループゆらゆいの４団体で，司会は奄美しま唄グループゆらゆい代表の和田孝之さんが務めた。道の島太鼓がオープニングを飾り，太鼓の迫力ある音が会場全体に鳴り響き観客を圧倒した。続いて，奄美しま唄グループゆらゆいによる島唄の披露で，男性唄者と女性唄者が交互に朝花節，むちゃ加那節などを唄い，観客は島唄に聴き入っていた。引き続き，舞弦鼓による和太鼓エイサー，うるまエイサーによるエイサーの披露があり，太鼓を叩きながらの躍動感あふれる演舞に会場からは驚きの声が上がった。プログラム終盤では，出演者による六調が披露され，多くの観客が立ち上がり一緒に踊る姿がみられ，賑やかな締めとなった。

## （６）アマービレ吹奏楽団スプリングコンサート（主催：アマービレ吹奏楽団）

日時：平成２８年２月２１日（日）１４：４０～１６：００

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２２０名

内容：　奄美大島の音楽愛好家で組織し活動しているアマービレ吹奏楽団主催による「スプリングコンサート」が開催された。

　同吹奏楽団事務局の登山由希子さんが司会を務め，

第３０回国民文化祭かごしま２０１５のテーマソング，カサリンチュの「タイムカプセル」の演奏で元気よくスタートし，ジャズのスタンダード・ナンバーの一つグレン・ミラーの「ムーンライトセレナーデ」や世界的に大ヒットしたアニメ映画の主題歌「レット・イット・ゴー」，日本アニメの主題歌「ひこうき雲」などの演奏へと続いた。さらに，アンサンブルステージでは，木管五重奏やクラリネットアンサンブル，テナーサックスと三線のコラボ，金管アンサンブルなどを披露し，特に注目を集めていたのが，和と洋のコラボでテナーサックスと三線による「行きゅんにゃ加那」の演奏であった。続いて，第２ステージでは，配布された歌詞カードを見ながら観客が，演奏に合せて歌う場面や手拍子する場面などが見られ，会場は始終楽しい雰囲気に包まれていた。プログラム最後の曲の演奏を終え，会場からの拍手が鳴り続け，司会の「アンコール頂きました」の掛け声で，予定にはなかったカーペンターズの「青春の輝き」を演奏し，来場者は会場に響き渡る総勢１６名の生演奏に最後まで聞き入っていた。

**（７）第８回キバリな祭～結魂～**（主催：奄美市笠利町青年団）

日時：平成２８年３月１３日（日）１４：００～１６：００

場所：屋内イベント広場　　入場者数：約２００名

内容：　奄美市笠利町青年団主催，奄美市教育委員会共催による「第８回キバリな祭～結魂～」が開催された。出演者は，リズミックダンススタジオ，ほのか，笠利町老人コーラスクラブ，節田体操クラブ「こうせい君」，楠田莉子さん，メローイエロー，ホヌ，笠利わらぶぇ島唄クラブの８組で，司会は笠利町青年団ＯＢの濱地さんが務めた。幼児から９７歳までと幅広い出演者が，ダンスや歌，楽器演奏など多彩なジャンルのステージを披露した。

　リズミックダンススタジオの子どもたちによるダンスで元気よくスタートし，中盤では，出演者の歌に合わせて観客が手拍子をする場面などが見られた。会場は，青年団関係者や出演者の家族など多数の観客が詰めかけ，終始和やかな雰囲気に包まれ，最後は笠利わらぶぇ島唄クラブによる六調で幕を閉じた。

## 5　その他の自主事業及び共催事業

### （１） 文化の日イベント

日時：平成２７年１１月３日（火・祝）

① 昔あそび体験　１部１０：００～１２：００

２部１３：３０～１５：３０

② ケンムンクイズラリー　終日

③ 田中一村ちびっこ鑑賞会　１０：００～１１：００

場所：①屋内イベント広場ほか　②奄美の郷　③田中一村美術館

入場者（参加）数：①２５０名　②２０名　③１０名

内容：　文化の日は観覧料を無料としており，この機会に奄美パークをさらに身近に感じていただくことを目的に「文化の日イベント」を開催した。

奄美手熟師会の協力で開催した「昔あそび体験会」では，わらじ作り，竹とんぼ作り，ナリ細工，神の目ワークショップのコーナーを設けたほか，奄美パーク職員による結束バンドから作る「ゆびハブ」，アダンの葉から作る手裏剣のコーナーも設け，昔遊びを中心としたワークショップを行った。また，午前中は奄美パーク応援隊の内田和信さんによる島唄・三味線・太鼓体験も開催した。

また，総合展示ホール及びアイランドインフォメーションの展示物をとおし，奄美の歴史・自然・文化に興味を持ってもらう機会として通年事業で実施している「けんむんクイズラリー」では，有料ゾーンへ無料で入れたことから，より多くの子どもたちがクイズに挑戦していた。

田中一村記念美術館では，小・中学生を対象とした田中一村ちびっ子鑑賞会を開催し，学芸専門員が一村の作品だけでなく，美術館の役割や施設の機能，普段見ることができない館長室などを紹介した。参加者は，事務所，学芸室，荷解庫などを見学したあと，館長室で一村の生涯や奄美の自然，動植物についてスライドを見ながら学んだ。その後，実際の一村の作品を前にどんなものが描かれているか，どんな感じがするかなどを話し合った。子どもたちは，作品に描かれているものを細かく観察したり，感じたことをつぶやいたりしながら鑑賞活動を行った。この鑑賞会を通じて，美術館や作品を身近に感じてもらうことができた。

## （２）第９回奄美パーク子どもクリスマス会

日時：平成２７年１２月１３日（日）

午前の部　１０：００～１１：３０

午後の部　１４：００～１５：３０

場所：屋内イベント広場

入場者数：午前の部　約１，９００名

午後の部　約１，５００名

内容：　冬休みやクリスマス間近のこの時期に子どもたちにクリスマスを楽しんでもらうために「第９回奄美パーク子どもクリスマス会」を開催した。

ステージ最初のレクリエーションでは，奄美看護福祉専門学校こども・かいご福祉学科の学生が，クリスマス用にアレンジしたゆび遊びやクリスマスソングの手話コーラスを披露した。また，子どもたちに大人気の「妖怪ウォッチ」を参加型のダンスで披露すると，司会を務めた「あまみエフエム」の渡陽子さんの呼びかけもあり，たくさんの子どもたちがステージへ上がり，楽しそうに踊る姿が見られた。次に登場したのは，子どもクリスマス会ではおなじみの地元で活動するダンスユニットのヂルドレンで，泥染めや闘牛など奄美の文化をテーマにしたダンスで会場を盛り上げた。ステージ最後は，那覇パフォーマンスコンテストの優勝経験もある大道芸人けんぢで，バランス芸やパントマイム，ジャグリングなど，本格的な大道芸を披露した。また，来客を巻き込んでのショーでは軽快な絡みで会場の笑いを誘い，子どもだけでなく大人も大道芸人けんぢの作り出す愉快なステージに釘付けになっていた。

クリスマス会の最後は恒例の大抽選会を実施した。地元の企業から協賛品として，おもちゃやお菓子などたくさんの景品をいただき，子どもたちは抽選結果をわくわくと待ったり，自分の番号が呼ばれて笑顔でプレゼントを受け取ったりととても喜んでいた。最後は，抽選に外れて残念がっていた子ども全員にお菓子を配りクリスマス会を終了した。

開園直後から多くの家族連れで賑わい，午前の部，午後の部とも大盛り上がりのイベントとすることができた。

## （３）奄美パーク入館者２００万人達成記念セレモニー

日時：平成２８年１月２４日（日）１３：１５～１３：３０
場所：奄美の郷総合受付前　セレモニー参加者：２０名
内容：　入館者が，平成１３年９月の開館以来，２００万人を達成したことを記念し，くす玉割りや２００万人目の入館者へ記念品を贈呈するなどのセレモニーを実施した。

２００万人目の入館者は，大阪から観光で来島していた画家の狩集広洋さんと妻，長男の家族。セレモニーでは，宮崎園長のあいさつに続き，狩集さん家族と島内在住の友人家族，園長がくす玉を割り，花束・記念品の贈呈，記念証の授与，同家族の紹介，最後に記念撮影を行い，２００万人達成を祝った。友人のイベントに参加し，飛行機に乗る前に田中一村の絵を見ようと訪れた同家族は，２００万人目の達成者になったことをとても驚き、喜んでいた。

なおこの日は，セレモニー開催に先駆けて奄美パーク応援隊による園地内一斉清掃を計画していたが，全国的に記録的な大寒波が襲来し，奄美市の測候所でも雪を観測するなど，この冬一番の冷え込みとなり中止とした。

## （４）ありがっさま２００万人達成記念ライブ

日時：平成２８年２月２１日（日）１３：００～１４：４０
場所：屋内イベント広場　入場者数３７０名
内容：　奄美パークの入館者が１月２４日に２００万人を達成し，県内外の観光客や地元の方々とともに入館者２００万人達成を祝い，奄美パークのさらなる発展を祈念する目的で記念イベントを開催した。

はじめに，宮崎園長があいさつし，当パークの運営に協力いただいていることに対するお礼や，これからも地域の方々に利用していただきたいなどと述べた。

続いてライブは，福山幸司さんと平久美さんによる祝唄「長朝花節」で幕を開け，地元の節田小学校の児童や同ＯＢ・ＯＧによる「アマンディー太鼓」では，それぞれ心を１つにして会場に力強く太鼓の音を響かせた。アマンディー太鼓は奄美パークの開園以前から受け継がれており，平成１３年９月の開園記念式典のアトラクションでも披露している。次に，奄美群島

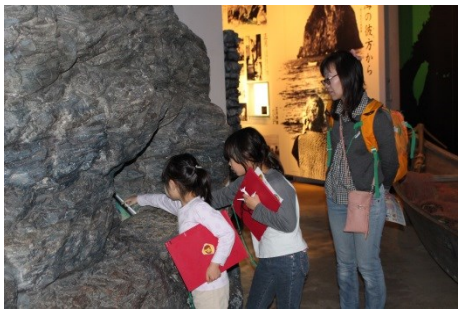
日本復帰 60 周年記念式典でも熱唱し，多くの反響を呼んだ古仁屋中学校１年生の安大智くんが，エネルギッシュな声とピアノ伴奏で美空ひばりの「東京キッド」などを熱唱し，その表現力に感嘆した来場者から大きな拍手が送られた。また，数々のダンスイベントに出演し，奄美パークパフォーマンスバトル２０１４で初代チャンピオンに輝いたＢ→ＭＡＴＯＮＤＳは，４０名近いメンバーを引き連れ迫力あるダンスを披露した。次に，民謡民舞少年少女全国大会で中学生民謡日本一に輝いたこともあり，昨年開催された「第３０回国民文化祭・かごしま２０１５」のオープニングフェスティバルに出演し，奄美の魅力を全国に発信した県立大島高校２年生の楠田莉子さんと，今年度の民謡民舞奄美連合大会で総合優勝に輝いた地元県立大島北高校２年生の森永あすかさんが，「朝花節」やチヂンを使ったテンポのいい「豊年節」などの島唄を披露した。イベントの大取は，奄美島唄界を代表する唄者で，日本民謡大賞全国大会グランプリや，県民表彰も受賞している築地俊造さんが，所々楽しい小話を交えながら「ワイド節」などの島唄を唄い，会場を盛り上げた。

最後は，福山幸司さんの三味線と平久美さんの唄，島名享奄美市紬観光課長のチヂン演奏による六調で，出演者と来場者が一体となって盛り上がり，奄美パーク入館者２００万人達成記念の祝いに相応しく素晴らしいイベントとすることができた。

### （５）けんむんクイズラリー

期間：通年　場所：奄美の郷内

内容：　展示物の解説などをヒントにクイズを解いて周り，ゲーム感覚で学べる「けんむんクイズラリー」を実施した。雨の日や日差しの強い夏，風の冷たい冬でも楽しむことができ，無料ゾーンだけでも参加できるようにしてある。クイズを解き終わった参加者には解答用紙と参加賞のケンムンシールをプレゼントした。また，田中一村記念美術館への誘客につなげるため，参加者は美術館の受付で追加のシールがもらえる特典を付けた。子どもだけでなく大人も参加する姿が多く見られ，クイズラリーを通して奄美への関心を高めるきっかけ作りにつなげることができた。



# 第４　田中一村記念美術館企画事業

## １　奄美関連作家展及び招待作家展

### （１）はじめの一歩展

期間：平成２７年３月２２日（日）～４月５日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：２，０５０名

内容：　奄美を拠点に活動する「風の会」が，メンバー６人で作品展示会を開催した。

同会は，パステル画やペン画，イラスト等の様々な形で奄美を表現しており，テーマや材料，作風が異なる６人の作家がそれぞれの作品を持ち寄り，全７８点の絵画を展示した。

また，初日には，作家６人が作品についてそれぞれ解説を行った。参加者は，説明にうなずきながら聞き入っており，「風の会」のメンバーの作風の共通点，相違点について，より深く理解する機会とすることができた。

来館者から「普段絵を観る事がないが，作品を観て自分も絵を描いてみたくなった」「奄美にはとてもすばらしい方々がいる。もっと色々な場所で紹介してほしい」などと感銘をうけた声が多く聞かれ，幅広い絵画表現を味わえる展示会となった。

### （２）あまみでアートプロジェクト

新たな視点で制作された「霧島アートの森」収蔵の立体作品１３点を展示するとともに，地域の人々と一緒になって郷土芸能等と融合したアートパフォーマンスやトークイベントを実施することにより，多彩なアートを体感できる機会を提供した。

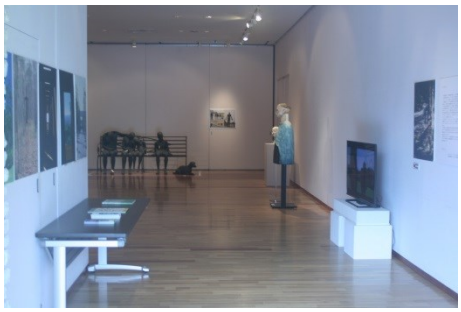
ア　霧島アートの森収蔵作品展示

期間：平成２７年４月１９日（日）～５月１７日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数　４，１６０名

内容：　重村三雄やオノ・ヨーコ，舟越桂，ニキ・サンファールなど，世界的に活躍する現代アート作家の作品を展示した。来館者から「著名な作家の本物の作品を鑑賞でき，わくわくした」「近代アートは分かりにくいと思っていたが実物を近くでみて親しみがわいた」などの感想を得た。

なお，最終日の５月１７日（日）は，霧島アー



トの森の宮薗広幸学芸課長によるギャラリートークを行った。難解といわれる現代アートの見方や制作の多様性について，詳しく解説していただいた。参加者から「これまで難しいと思っていた現代美術を身近に感じた」「目の前の作品の見方，とらえ方が変わった」といった感想を得た。

（ギャラリートーク参加者数：２４名）

イ　オープニングセレモニー

日時：平成２７年４月１９日（日）１３：３０～１５：１５

場所：屋内イベント広場　　入場者数　約３５０名

内容：　アートを通じた国際交流を図り，県民が地域資源の魅力を再発見することを目的とした「かごしまアートフェスタ２０１５」の一環で，４月１９日から「あまみでアートプロジェクト」を開催する。そのオープニングとしてアートを体感できるイベントを実施した。

　ステージでは，出演者に日本のコンテンポラリーダンス界に旋風を巻き起こし，コンドルズを率いる舞踊家の近藤良平氏，奄美の島唄の第一人者である築地俊造氏，県立大島高等学校新体操部を招き，コラボレーションアートパフォーマンスを披露した。

　オープニングセレモニー最後は，出演者と来場者全員が参加して「六調」を踊り，改めて奄美の良さを体感できる内容とすることができた。

## （３）日米交流アート展 in 奄美 BEFORE and AFTER～奄美を感じて～

　アメリカから奄美に来島し，奄美の子どもたちにアート体験を指導したカリフォルニア州立大学チコ校の学生等の作品を田中一村記念美術館に展示することにより，奄美の自然と文化の価値について，地域の人々と一緒になって再発見する機会を提供することを目的に開催した。

　また，島外からの来館者にアートを通して奄美の素晴らしさを紹介するとともに，島内の美術愛好家を中心とした文化活動への貢献も期待された。

ア　作品展示

期間：平成２７年７月４日（土）～７月２６日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：２，２２１名

内容：　カリフォルニア州立大学チコ校出身のアーテ

ィストによる奄美関連作品，日本内外で活躍する芸術家，美術教育者等の作品を展示した。来館者から「アーティストの個性が印象的で感動した」「奄美の奥深い文化をこれからも大事に守り続けていきたい」などの感想を得た。

イ　オープニングトーク

日時：平成２７年７月４日（土）１３：３０～１４：３０

場所：企画展示室　参加者数：４２名

（講師：渡邊晃一氏　福島大学・芸術による地域創造研究所所長）

内容：　奄美を訪れる前の作品と奄美の自然や文化等に触れた後の作品の変化について，日本で指折りのモナリザ研究者が解説し，田中一村の作品の変化についても言及した。参加者から「奄美の文化や自然の奥深さについて，あらためて考える機会になった」「展示作品のもつ意味がより深くわかった」などの感想を得た。

ウ　美術館ジャック＆ギャラリートーク

日時：平成２７年７月１２日（日）１３：００～１６：００

場所：企画展示室　参加者数：６２名

（講師：三澤一実氏　武蔵野美術大学教授と「旅するムサビ」）

内容：　武蔵野美術大学の学生１５名が，会場近くの広場で奄美をイメージして作品を制作した。制作に参加する参観者もあり，楽しい作品が出来上がった。また展示の最終日まで，来館者も描き加えることができるようにし，制作にも参加していただく企画とした。参加者からは「自由に表現できて楽しい」「じっと見ているといろいろなものに見えてくる」「奄美らしくなってきた」などの感想を得た。

## （４）アートクラブかごっま・名瀬美術協会交流展

期間：平成２７年８月８日（土）～８月３０日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：１，８２７名

内容：　霧島市を拠点に芸術活動をすすめる「アートクラブかごっま」と，作品制作を通して奄美の自然や文化を島内外に情報発信している「名瀬美術協会」との交流展を油彩画やパステル画など４６点を展示し開催した。

初日には，アートクラブかごっまと名瀬美術協会の

各作家が作品について解説を行った。参加者は，美術表現の可能性や広がりを楽しみながら，芸術文化，自然や伝統などを味わう機会となった。

期間中の来館者からは「鹿児島と奄美の個性・土地柄が出ていて面白かった」「人，風景，植物，動物が生き生きと描かれていてよかった」との感想を得るなど奄美の良さを伝えることができ，また，奄美群島で芸術活動に取り組む方々の活動への良い刺激にもなった。

## （５）奄美の作家３人展

期間：平成２７年１２月２７日（日）～平成２８年１月１７日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：１，７６７名

内容：　奄美という地理的な不便さの中で精力的に創作活動に取り組み，島内外で作品発表をしている作家，久保井博彦氏及び畠理弘氏，堀晃氏の３人がそれぞれの視点，技法で描いた絵画１７点を展示した。

展示作品は，いずれも２０１０年頃から２０１５年にかけて描かれた新作や未発表作品が中心で，中には縦２メートル，横５メートルの迫力のある大型作品もあり，島内外からの来館者に奄美の素晴らしい作家を紹介するとともに，美術を中心とした文化活動へ貢献することができた。来場者からは「大きな作品を見る機会が少ないので，すごく感動した」「一人ひとりの世界観が心に響いた。とても楽しい時間をいただき，ありがとうございました」などの感想を得た。

また，会期中の１月１０日（日）には作品解説が行われ，堀氏は，何でもアートとみなす近年の傾向に苦言を呈しながらも，「３人展で奄美の作家とコラボできたことは幸せな経験だ」と語り，また，久保井氏は，「今こそ大きな作品を描かなければという気持ちで制作に臨んでいる」と，畠氏は，「私の描く絵は奄美そのものであり，奄美のモチーフを用いて思いを表現している」とそれぞれ語った。３人の作家が作品のモチーフや制作にあたる経緯，思いなどを話し，美術愛好家など１００人を超える参加者たちは，作者の話から絵に対する理解を深め，作品への関心をさらに深めていたようだった。

## （６）管洋志・ニッコールクラブ奄美群島支部合同写真展

期間：平成２８年２月１日（月）～２月２１日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：２，１００名

内容：　管洋志氏がアジアを写した作品６０点と，ニッコールクラブ奄美群島支部会員がそれぞれの視点で捉えた奄美の姿３８点を鑑賞できる合同写真展を開催した。管氏は，１９４５年に福岡県に生まれ，２０１３年４月に逝去。ドキュメンタリー写真の分野で活躍し，奄美との関わりは深く，奄美の人，自然，文化などを独自の視点から捉えている。また，ニッコールクラブ奄美群島支部は，写真によって奄美を島外に発信しようと活動している。

合同写真展の初日には，管洋志氏夫人の管眞理子氏と息子の管洋介氏，ニッコールクラブ奄美群島支部会員によるフロアトークを行った。

なお，期間中の来館者からは，「とても迫力があり心を打たれた。素晴らしくて感動した」「一点一点の作品の重み，感覚的に出来上がった構図の魅力など，素晴らしいものを観させていただいた」などと感想を得た。

## （７）「日本クラフトデザイン協会と奄美に関わる作家」展

期間：平成２８年３月１１日（金）～３月２０日（日）

場所：企画展示室　　期間中の入館者数：１，６０２名

内容：　郷土の素材を生かした工芸作品のよさに触れる機会を提供するために，日本クラフトデザイン協会と奄美に関わる作家による様々なジャンルの４７作家の作品を展示した。

開催期間中の３月１３日（日）には，日本クラフトデザイン協会の岡本昌子理事長を迎え，日本クラフトデザイン協会の活動の紹介や出展作品の解説などを行った。会場には６０名を超える多くの方が集まりクラフトへの関心を深めた。企画展の開催で，奄美群島の人々に工芸作品に触れる機会を提供するとともに，地域の人々と一緒になってものづくりについて考える機会とすることができた。なお，来館者からは，「工

芸作品を見る機会があまりなく，とても刺激をうけた。とてもよかった」「島の素材を使った作品が多く，よかった。初めて知る作家さんも多く，このような企画を継続的に開催していただきたい」などの感想を得た。

## 2　県美展奄美関連作家展

期間：平成２７年６月７日（日）～６月２８日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：１，５３４名

内容：　第６２回県美展において入選・入賞した奄美関連作家らの作品を展示することで，島内外の美術愛好家に紹介するとともに，奄美群島の芸術発展に寄与することを目的に開催した。

奄美群島在住作家などの作品で，洋画１６点と写真１３点の計２９点を展示。県美術協会賞をはじめ，奨励賞，会員推挙等受賞作品や，多数の入選作品のほか田中一村記念美術館賞の作品も展示した。

来館者からは「とても良かった。毎年見に行くのを楽しみにしている」「写真も絵画もとてもすばらしく，奄美を誇りに思う気持ちをあらためて呼び起こしました」「それぞれの分野で頑張っている様子が見えて励みになる」との声をいただきくなど，多くの来館者を魅了することができた。なお，初日に開催したフロアトークでは，出席した１９名の作家がそれぞれの作品についての解説をした。

## 3　田中一村記念スケッチコンクール作品展

期間：平成２７年９月１９日（土）～１０月４日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：１，８１４名

内容：　奄美群島内の小・中学生を対象に奄美の自然や生活，行事などをテーマにスケッチ作品を募集し，応募のあった５２７点の作品から，入選，入賞した３３０点を展示した。９月２６日（土）には授賞式を開催し，入選，入賞した児童・生徒１０名やその家族，関係者の参加があり，受賞者らは嬉しそうに賞状と記念品を受けとった。会期中の来館者からは，「子どもたちの生き生きとした作品を鑑賞でき，とてもあたたかい気持ちになった。奄美を愛する気持ちが表現された作品だ」「子どもたちの目を通して，奄美を感じることができた」などの感想を得た。

## ４　第１４回奄美を描く美術展

### （１）本展

期間：平成２７年１０月２５日（日）～１１月２２日（日）

場所：企画展示室　期間中の入館者数：２，０３４名

内容：　奄美を描く美術展は，全国の美術を愛好する方々が奄美を訪れ，奄美の風物や文化に接し，作品を発表する機会を提供するとともに，奄美の文化振興，観光の発展に寄与することを目的に開催している。

第１４回目となった今回は，全国から１０６点の作品（油彩，水彩，アクリル，パステル，七宝，切り絵など）が寄せられ，審査を経て，入賞１２点，入選４８点の計６０点を展示した。

審査員長の山内滋夫氏（写実画壇会員）は，「奄美の自然を通して内面的なものを感じさせる作品が多かった。審査の過程で絵に対する熱気を感じ，描きたいという意欲が伝わる作品，自分の人生に対するいとおしさを内包した作品に出会うことができた。出品者の年齢や経験も多様で，表現方法や材料も様々であるが，それぞれの方向性を究めようとする誠実さや情熱を感じた。奄美群島外からの出品作品とともに，奄美の作品も変化に富み，魅力に溢れていた。本展の益々の盛り上がりを期待する」と総評した。

また，来館者からは，「すばらしい作品ばかりで感動した。「個性あふれる作風から奄美の自然や土地柄などが伝わった」「奄美のＰＲと後継者育成のために，継続して実施して欲しい」などの感想や意見を得た。

### （２）巡回展

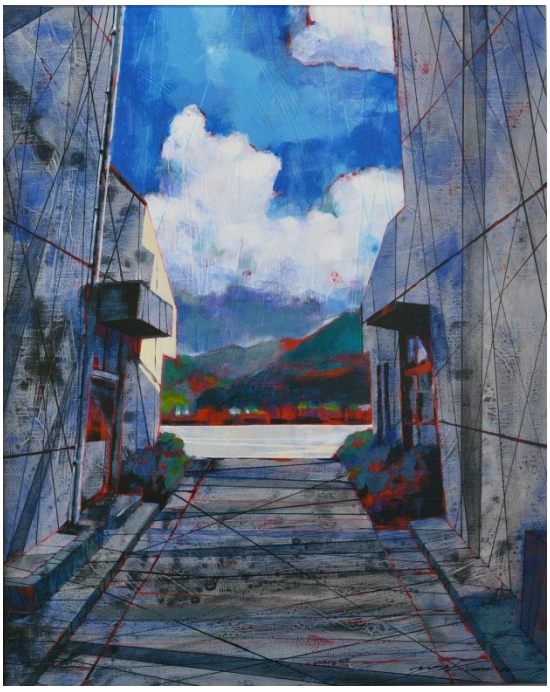
期間：平成２７年１２月６日（日）～１２月１３日（日）

場所：和泊町　西郷南洲記念館　入館者数：１２６名

内容：　和泊町西郷南洲記念館で開催した巡回展では，本展でも展示した入賞１２点，入選１５点の計２７点の作品を展示した。同館の職員や町教育委員会の方々による展示作業や広報の協力もあり，素晴らしい展示会となった。来館者からは，「皆さんの作品に対する熱い思いを感じ取ることができ，刺激を受けた」「奄美を再発見することができて，よかった。県外の方もそれぞれの視点で奄美を表現していた」「これからも巡回展を続けてほしい」などの感想や意見を得た。

## （３）入選・入賞作品

奄美を描く美術展大賞
「彷徨」
Ｆ１５　油彩　平野　良光（喜界町）
微生物などの丁寧な扱い，落ち着いた色調から静けさが伝わってくる。現代性を感じさせながら内面的なところへの愛情や細やかな夢想を感じさせる作品である。



田中一村記念美術館賞
「雨が来る」
Ｆ１５　アクリル　吉村　英彦（奄美市）
工夫された色や形が硬質な空気感を醸し出している。光と影，空と雲のコントラストも鮮やかで，構成された明確な構図の中に，奄美の印象を迫力をもって表現している。

優秀賞
「泥染め職人の肖像」
Ｆ１５　水彩　高山　法雄（熊本県）
人物，大きな甕などの配置によって構図が整えられている。暗部も丁寧に描き込まれており，光の表現も巧みである。一息ついている人物は何を考えているのかと想像を誘う。

優秀賞
「極楽鳥花」
Ｆ１５　水彩　丸山　良二郎（鹿児島市）
観察，基本的なデッサンなど，長年にわたって培ってきた努力の跡が作品に現れている。葉の先の描写などに工夫がみられ，また白い花と茶色の部分の対比も美しい。

優秀賞
「郷里」
Ｆ１５　油彩　時本　茂花（喜界町）
ものに対するとらえ方が豊かで，いたる所に詩情を感じさせる。人物の後ろの見下ろす風景，空や光の変化が美しく，全体の絵の構成から素直さが伝わってくる。

優秀賞
「悠久の海」
Ｐ１５　七宝　髙塚　ヒサノ（鹿児島市）
七宝の作品でありながらリアリティを感じさせる。海，空，波など様々な想像を見る側に与えてくれる。配色も爽やかで，時代を生きる喜びが伝わってくる。

優秀賞
「カドミウムレッドの風Ⅱ」
Ｆ８　油彩　瀧田　秀子（奄美市）
構図が大胆で大きさを感じさせる。赤と微妙に色味の異なるいくつかの緑が見事に調和している。画面から吹いてくる一陣の風が気持ちよい作品である。

佳作・奄美の海賞

「望郷」

Ｆ１５　油彩　岡山　良治（龍郷町）

印象的な中央の船など，一つ一つの対象が丹念に描かれ，それぞれの形に力がある。素朴さの中に情熱が凝縮されている。海の表現も魅力的である。

佳作・奄美の空賞

「さとうきび畑にて」

Ｆ１５　油彩　木下　昌之（鹿児島市）

二人の人物の肌の色もにごりがなく，それぞれの表情が印象深い。サトウキビ畑と雲の表現も健康的で，素直な表現の大切さをあらためて感じさせる作品である。

佳作・奄美の杜賞

「奄美クサアジサイ」

Ｆ１５　日本画　中村　哲郎（奄美市）

絵に対して誠実に向き合う様子が，植物の色や形の繊細な表現から伝わってくる。絵とともに人生を味わっていると感じる作品である。

ヤング賞

「白い船」

Ｆ１５　油彩　高野　海舟（喜界町）

色が画面になじんでいて，清潔感を感じさせ美しい。大胆で構成的な作品であるが，温かい画面から若者らしい素直さや優しさが伝わってくる。

シルバー賞
「静寂」
Ｆ１０　油彩　藤山　光通（奄美市）
人生を歩む中で培ってきた努力の蓄積が感じられる作品である。色が温かみを湛えていて安心して鑑賞できる。カーテンにユーモアがあり，描く楽しさが感じられる。

【審査評価】
　奄美の自然を通して内面的なものを感じさせる作品が多かった。審査の過程で絵に対する熱気を感じ，描きたいという意欲が伝わる作品，自分の人生に対するいとおしさを内包した作品に出会うことができた。出品者の年齢や経験も多様で，表現方法や材料も様々であるが，それぞれの方向性を究めようとする誠実さや情熱を感じた。奄美群島外からの出品作品とともに奄美の作品も変化に富み，魅力に溢れていた。本展の益々の盛り上がりを期待する。
　審査員長　山内　滋夫（写実画壇会員）

## ５　その他企画展

### 龍郷町立小・中学校図画工作・美術学習発表展

期間：平成２７年１１月２９日(日)～１２月１３日(日)

場所：企画展示室　期間中の入館者数：１，３８７名

内容：　授業で制作した作品を美術館に展示することにより，児童生徒の創作活動への興味・関心，意欲を高めるとともに，美術館を身近に感じてもらう機会となり，また，参加校の保護者や地域住民にも学校の学習内容や児童生徒の様子を理解してもらうとともに，指導内容等についての情報を交換する場となることなどを期待して開催した。

　龍郷町立の小学校７校と中学校３校の児童生徒が授業で制作した絵画・立体などの作品を展示した。学校での指導のもと，子どもたちの豊かな発想から生まれた作品を前に，来館者からは，「子どもたちの作品が生き生きしていて元気をもらった。他校の子どもの作品も見ることができてよかった」「大人には考えられない子どもたちの発想のすばらしさ，子どもらしさに感動した」「自分の作品があってうれしかった。みんなうまいと思った」などの感想を得た。

## ６　芸術文化講演会及び美術講演

### あまみでアートプロジェクトオープニングシンポジウム

日時：平成２７年４月１９日（日）１３：３０～１５：１５

場所：屋内イベント広場　来場者数：３５０名

内容：　県民に地域資源の魅力を再発見していただくことを目的に開催された「かごしまアートフェスタ２０１５」の一環として，奄美パーク・田中一村記念美術館を会場にアートを体感できるイベントを企画した。オープンを記念して，シンポジウム「これからのアートが担うもの」が開催され，宮崎 緑氏（田中一村記念美術館館長），河口洋一郎氏（霧島アートの森館長），

　藤浩志氏（十和田市現代美術館館長）をパネリストに，これからの芸術の可能性について話し合われた。

## ７　創作体験教室ほか

### （１）創作体験教室・楽しい絵画教室「奄美を描こう」

日時：平成２７年５月２４日(日)１０：００～１６：００

場所：レクチャールーム　参加者数：１７名

内容：　当美術館初代学芸専門員で県立川辺高等学校に非常勤講師として勤務する西村康博氏を講師に招き，日本画の創作体験教室を開催した。

参加者はまず，植物や野菜などの題材を決め，木炭で下書きをした。その後，墨で輪郭を描き，日本画水性絵具を使って作品を描いていった。途中，講師が参加者の作品を見てまわりながら声を掛け，アドバイスをおくったりした。参加者は，アドバイスをふまえ，それぞれの感性で彩色を施し，作品を仕上げていった。さらに，活動の後半は，田中一村の描き方を参考に，作品に気持ちを込めて完成させていった。

最後に，完成した作品に講師が講評を行い，互いの作品を鑑賞した。

参加者全員が熱心に創作活動に取り組み，「指導を受けることで自分の絵が良くなることが実感できた」「葉の明暗の描き方が難しかったが楽しかった」と嬉しそうに話したり，次回も参加したいとの声も聞かれるなど，それぞれが日本画の創作を楽しんでいた。

### （２）夏休み親子「織り体験」

日時：平成２７年８月２９日（土）

午前の部　１０：００～１２：００

午後の部　１３：３０～１５：３０

場所：レクチャールーム　参加者数：２９名

内容：　奄美市笠利町で「工房檸檬草」を運営する植田正輝氏を講師に招き，奄美の伝統工芸である大島紬の織りの工程について，仕組みを理解したり楽しさを味わうことを目的に織り体験を行った。

参加者は，あらかじめ準備していた織りの道具を使い，糸を布にしていく体験をした。はじめのうちはうまく織れなくて困った表情を見せる参加者もいたが，説明を聞きながら次第に上手に織れるようになっていった。織りを進めるうちに上達し，色を変えたり織りの模様を変えたりして工夫を加えるようになって

いった。「木綿糸を張って織りの道具を仕上げるところは難しかったが，やり始めたらどんどん工夫したくなった」「織りの仕組みが少し分かった。家でもやってみたい」などの感想を得た。

参加した子どもたちは織りの仕組みを理解しながら自分なりの工夫を施していた。夏休みの自由研究や思い出づくりにもなった織り体験により，泥染の良さや楽しさも味わってもらうことができ，奄美に伝わる伝統工芸の奥深さにふれる機会とすることができた。

### （３）田中一村作品鑑賞会

日時：平成２７年９月６日（日）１０：００～１２：００

場所：レクチャールーム・田中一村記念美術館参加者数：４２名

内容：　９月１１日の一村忌（田中一村の命日）を控え，当美術館学芸専門員による解説を交えた田中一村作品の鑑賞会を行った。

はじめに，奄美の郷レクチャールームにおいて，一村の絵に親しみ，一村を通して奄美を知るために，一村の生涯についての説明や，一つの作品を参考にして鑑賞するポイントなどを解説した。次に，美術館へ移動し，鑑賞するポイントを解説しながら各展示室を巡った。参加者は，一村の作品を前にじっくりと鑑賞することによって，一村の生き様に触れたり，一村の作品や人柄についての理解を深めたりした。

鑑賞会終了後も参加者同士で話し合う姿や学芸専門員への質問，ガイダンス室でビデオ視聴をする姿が見られるなど，一村に対する関心を高めていた。

### （４）創作体験教室「人物画講座」

日時：平成２８年２月２７日（土）・２８日（日）１０：００～１６：００

場所：企画展示室　受講者数：１８名

内容：　西健吉先生（二科会鹿児島支部長・鹿児島県美術協会会員）を講師に招き，絵画制作の基本的な知識や手順，技能を学んでもらうことを目的に創作体験教室「人物画講座」を開催した。

１日目は，５分のクロッキーで４ポーズを描いた後に固定ポーズを描いた。続いて２日目は，５分のクロッキーで２ポーズと１０分のクロッキーを１ポーズ，その後に固定ポーズを描くという日程で行っ

た。参加者はモデルの特徴を捉え，油彩や水彩，アクリル等で人物画の制作に取り組んだ。特に２日目には，積極的に西先生からの絵に対する助言を受け，それぞれに個性ある作品を制作した。最後に制作した作品一つ一つについて，西先生が講評を行い，互いの作品を鑑賞した。

参加者からは，「西先生の指導や講評が制作を進めるうえで大きなヒントになった」「他の参加者の作品もとても参考になり，集中して取り組むことができた」などの感想を得た。

# 第５　各種イベント・美術館企画展ポスター等

島の魅力を再発見
出張!! ちびっこ
放送ディ!学
あまみの大切な生き物たち in 奄美パーク
2015 5/31 日
会場 奄美パーク
開催時間 13:30～15:30
入場料 無料
来場者全員にアマミノクロウサギの○○をプレゼント!!
楽しいダンスと体操もあるよ!
奄美大島にはめずらしい生き物が た～くさん。
あまくろとクイズをしよう!
当たったんにはプレゼントがもらえるよ!
よ～くお話を聞いて観察してみよう!
協力：奄美野生生物保護センター／奄美マングースバスターズ／NPO 法人 ASA 奄美スポーツアカデミー
鹿児島県 奄美パーク
鹿児島県奄美パーク
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
Tel:0997-55-2333 Fax:0997-55-2612
HP http://www.amamipark.com/
BLOG http://ap129.amamin.jp/
お問合せ
NPO 法人ディ
あまみエフエム ディ!ウェイヴ
電話番号：0997-55-0777

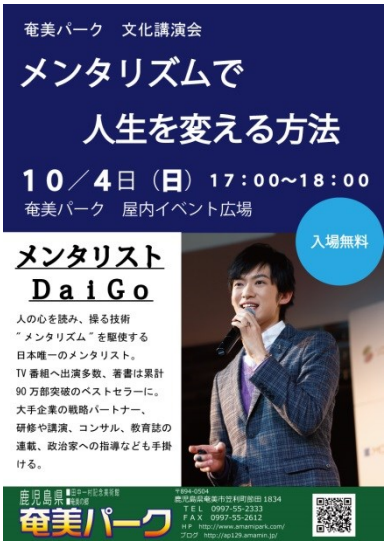
奄美パーク キッズダンスフェスタ
6.14(SUN) 2015
開催時間
13:30～15:30
開催場所
奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場
出演者
サンビーム キッズダンス&CORE
Hula-みんご
ハーラウ オ レフア オ カラニ 奄美大島校
童子八月踊り研究会
トゥルー.フレンズ.ジュニア
叶 慈平
鹿児島県 奄美パーク
鹿児島県奄美パーク
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
Tel:0997-55-2333 Fax:0997-55-2612
HP http://www.amamipark.com/
BLOG http://ap129.amamin.jp/

旅の始まりは奄美パークで
しまたミニライブ
平成27年8月2日（日）
8月16日（日）
8月30日（日）
全て
13:30～14:00
出演 永井三味線教室
場所 奄美パーク
屋内イベント広場
入場無料
光・風・夢あふれる
未来へのゲートウェイ
鹿児島県 奄美パーク
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
奄美パークHP http://www.amamipark.com
TEL 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612
奄美パークBLOG http://ap129.amamin.jp/

あの頃君も若かった!
心のうた歌謡コンサート
～昭和歌謡から新民謡、奄美歌謡まで～
泉 清次
平 紀久美
島 ひとみ
しいちゃん
ロイヤルフラ仲山教室
夢魅神楽
<他出演>
平 清夫
Dragon のマジックショー
振る舞いミキ
あります!
(13時～13時半)
先着 300 名様まで
平成27年9月13日（日）
午後1時30分～午後3時30分
場所：奄美パーク 屋内イベント広場
入場無料
鹿児島県 奄美パーク

奄美の郷ライブステージ
大和とう宇検ぬ
伝統文化ぬ
祭典
と き：平成27年11月1日（日）
13時30分～15時30分
ところ：奄美パーク 屋内イベント広場
出演団体：大和村（棒踊りほか）
宇検村（八月踊りほか）
入場料：無料
鹿児島県 奄美パーク
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
Tel:0997-55-2333 Fax:0997-55-2612
HP http://www.amamipark.com/
BLOG http://ap129.amamin.jp/

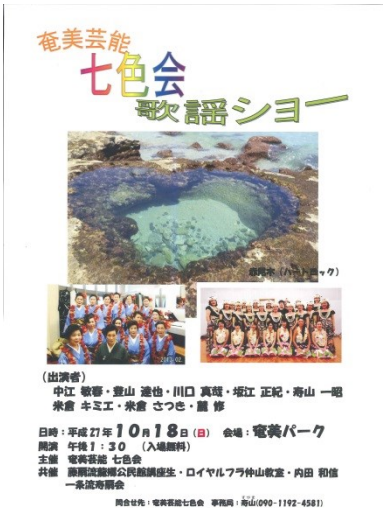
誰でも主役!
奄美パーク
パフォーマンスバトル2016
出場者決定
1. 開催日時
平成28年2月7日（日）13:30～15:30
2. 開催場所
鹿児島県奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場
3. 出場者
坂井 文麿（演奏）
アヌエヌエフラ教室（ダンス）
修武台吟詠奄美浩嶺会（詩吟）
はなさ ほーらさ 喜界島（ダンス）
生元 為市（歌）
リコフラダンス教室（ダンス）
奄美フォークダンスクラブ（ダンス）
森田 佐喜雄（演奏）
HULA-みんご（ダンス）
Sei-chan（体操）
トゥルーフレンズ（ダンス）
HaLau O Lehua O Kalani 奄美大島校（ダンス）
ピエロのてっちゃん（手品）
ゲスト リッコモダンジャズバレエスタジオ
鹿児島県 奄美パーク
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612
TEL 0997-55-2635 FAX 0997-55-2613
HP http://www.amamipark.com/
BLOG http://ap129.amamin.jp/


奄美パーク 文化講演会
メンタリズムで
人生を変える方法
10／4日（日）17:00～18:00
奄美パーク 屋内イベント広場
入場無料
メンタリスト
DaiGo
人の心を読み、操る技術
"メンタリズム"を駆使する
日本唯一のメンタリスト。
TV 番組へ出演多数、著書は累計
90 万部突破のベストセラーに。
大手企業の戦略パートナー、
研修や講演、コンサル、教育誌の
連載、政治家への指導なども手掛
ける。
鹿児島県 奄美パーク
〒894-0504
鹿児島県奄美市笠利町節田 1834
TEL 0997-55-2333
FAX 0997-55-2612
HP http://www.amamipark.com/
ブログ http://ap129.amamin.jp/

わきゃステージ in パーク
地元有志によるステージ
あなたも一緒に唄って踊って楽しいひとときを
汝きゃ我きゃ
島唄しょーろ
入場無料
平成27年7月5日（日）
13:30～15:30
奄美パーク 屋内イベント広場
鹿児島県 奄美パーク
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田 1834
TEL：0997-55-2333 FAX：0997-55-2612
主催：龍郷町島唄保存会

あやまる会・共助会
島唄あしび
日 時 7月19日（日）PM1:30～PM3:30
場 所 奄美パーク
主 催 あやまる会、共助会

わきゃステージ in パーク
入場無料！
☆エムズ（重夢逗）ダンス with 島唄☆
とき 平成27年9月20日（日）
13時30分～15時
ところ 奄美パーク 屋内イベント広場
島唄（平 久美）とエムズ（重夢逗）ダンス（三田 奈美）とのコラボ！
ラテン中心の創作ダンス！！島うたを踊る！！
★出演者 ▶▶▶▶▶ M´s Party
▶▶▶▶▶ 平 久美
▶▶▶▶▶ 福山 幸司ほか
主催 M´s Party


奄美芸能
七色会
歌謡ショー
（出演者）
中江 敏春・豊山 達也・川口 真哉・坂江 正紀・寿山 一昭
米倉 キミエ・米倉 さつき・麗 修
日時：平成27年10月18日（日） 会場：奄美パーク
開演 午後1：30 （入場無料）
主催 奄美芸能 七色会
共催 藤崩流龍郷公民館講座生・ロイヤルフラ仲山教室・内田 和信
一条流寿扇会
問合せ先：奄美芸能七色会 事務局：寿山(090-1192-4581)

縁
～太鼓と唄で繋がる島々節～
出演
島唄グループゆらゆい
道の島太鼓
うるまエイサー
舞弦鼓
日程 2015年11月22日（日） 時間/14:00～16:00
場所 奄美パークイベントステージ 入場無料
主催 舞弦鼓イベント実行委員会

アマービレ吹奏楽団
スプリングコンサート
【曲 目】
♪男はつらいよ
♪世界にひとつだけの花
♪ムーンライトセレナーデ
♪ソロアンサンブルステージ等
平成28年2月21日（日）
入場無料
開演 14：30～
奄美パーク 屋内イベント広場
主催：アマービレ吹奏楽団
《お問い合わせ先》優悠プラザ（関野）：0997-53-4221

第8回
キバリな祭
～結 魂～
開催日 平成28年3月13日（日曜）
場所 奄美パーク屋内イベント広場
開場13:30 開祭14:00
～出 演 者～
★笠利町老人コーラスクラブ
★笠利わらぶぇ島唄クラブ
★リズミックダンススタジオ
★ホヌ
・・・etc
激熱
主催 奄美市笠利町青年団
共催 奄美市教育委員会
お問合せ：青年団 事務局 田中 平太
☎080-1713-1873

奄美パーク
文化の日は観覧料が
無料になります
11/3（火・祝）
文化の日イベント
参加無料!!
昔あそび体験会
ケンムンクイズラリー
田中一村ちびっ子鑑賞会
お得な年間パスポート
多目的広場で遊ぼう！
遊びに来てね！
奄美パーク

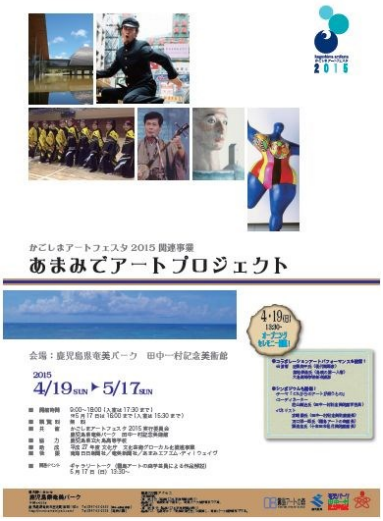
第9回奄美パーク
子どもクリスマス会
2015年12月13日（日）
【午前の部】10時～11時30分（受付開始 9時30分）
【午後の部】14時～15時30分（受付開始 13時30分）
場所：奄美パーク屋内イベント広場
入場無料
クリスマス大抽選会チケット
クリスマス大抽選会について
抽選券の配布先は…
奄美パーク

奄美パーク入館者200万人達成記念イベント
ありがっさま
★入場無料！
200万人達成記念ライブ
とき 平成28年2月21日（日）13時～14時15分
ところ 奄美パーク屋内イベント広場
出演者
★島唄
築地 俊造
福山 幸司 平 久美
楠田 莉子 森永 あすか
★アマンディー太鼓
節田小学校児童
節田小学校OB・OG
★独奏 安 大智
★ダンス B→MATONDS
※イベント観覧者に記念品プレゼント！！
奄美パーク

雨の日は、
暑い日は、
何もなくても奄美パーク
へ行こう!!
新しくなったよ♪
けんむん
クイズラリー
H27.07.01～
newly
あそびに来てね！
鹿児島県
奄美パーク

はじめの一歩
島のちゅら人それぞれの奄美アート展
個の会
2015年3月22日(日)～4月5日(日)
田中一村記念美術館 企画展示室
休館日 4月1日(水)
開館時間 9:00～18:00 (最終日は16:00)
入場無料

「あまみでアートプロジェクト」とは…？
【作品展示】
【関連イベント】
1 オープニングセレモニー
2 学芸員による作品解説
【出演者紹介】
鹿児島県奄美パーク


かごしまアートフェスタ 2015 関連事業
あまみでアートプロジェクト
会場：鹿児島県奄美パーク 田中一村記念美術館
2015
4/19 SUN ▶ 5/17 SUN

日米交流アート展 in 奄美
BEFORE and AFTER
～奄美を感じて～
2015.7.4(土)—26(日)
9:00am~7:00pm (7/5(日休館)
田中一村記念美術館企画展示室
入場無料
Jon Ault Thelonious Ault Rebecca Brown
Stacey Hanson J Powels Dillon Rapp
Ian Roffe Hayden Senter Jes Trasserini
展示会オープニングトーク
ジャックルギャラリートーク
メキシコに学ぶ！
アートを通しての国際交流&町づくり
展示会クロージングトーク
「英語DEアート」ワークショップ

アートクラブかごっま・名瀬美術協会交流展
平成２７年８月８日（土）～８月３０日（日）
開館時間 ９：００～１９：００（最終日１６：００）
田中一村記念美術館企画展示室 入場無料
奄美市を拠点に活動をすすめる「アートクラブかごっま」と奄美群島で芸術活動に取り組む「名瀬美術協会」との交流展を開催します。
【関連イベント】
フロアートーク（各作家による作品説明）
日時：８月８日（土）１１：３０～
場所：田中一村記念美術館企画展示室
主催：鹿児島県奄美パーク 田中一村記念美術館
後援：奄美市、あまみエフエム・ディ！ウェイヴ、奄美新聞社、
奄美地区文化協会連絡協議会、南海日日新聞社、南日本新聞社、
鹿児島県奄美パーク 田中一村記念美術館
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL.0997-55-2635 FAX.0997-55-2613

3 ARTISTS
in AMAMI
堀 晃
HORI HIKARU
畠 理弘
HATAKE MICHIHIRO
久保井 博彦
KUBOI HIROHIKO
奄美の作家３人展
■ 平成２７年１２月２７日（日）～平成２８年１月１７日（日）
■ 田中一村記念美術館 企画展示室 観覧無料
開館時間 ９：００～１８：００（最終日は１６：００まで）
１月６日（水）は休館となります。
■ 関連イベント フロアートーク（作家による作品解説） 参加無料
日 時：１月１０日（日）１５：４０～１６：３０
会 場：田中一村記念美術館企画展示室
主催 鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
後援 南日本新聞社、奄美新聞社、南海日日新聞社、
NHK鹿児島放送局、あまみエフエム・ディ！ウェイヴ
鹿児島県奄美パーク
田中一村記念美術館

管 洋志
「一瞬のアジア」
ニッコールクラブ
奄美群島支部
合同写真展
平成28年2月1日 (月) ～2月21日 (日)
田中一村記念美術館 企画展示室
開館時間9：00～18：00 観覧無料
(最終日は16：00終了)
2月3日 (水)・17日 (水) は休館
関連イベント (フロアートーク)
ゲスト：管 眞理子氏 (奄美自然史の会)、管 洋介氏
日 時：2月1日 (月) 10：00～11：00
会 場：田中一村記念美術館企画展示室
主催：鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
後援：奄美新聞社、南海日日新聞社、南日本新聞社
あまみエフエム・ディ！ウェイヴ、アマミテレビ、NHK鹿児島放送局

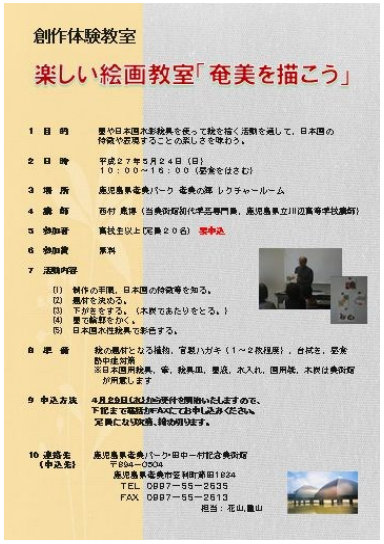
奄やとり2016
「日本クラフトデザイン協会と奄美に関わる作家」展
2016年3月11日(金)～3月20日(日) 9:00～18:00
田中一村記念美術館 企画展示室 入場無料
3月16日(水)休館日 ※最終日は16:00まで
日本クラフトデザイン協会22作家、
奄美に関わる作家25作家、
ジャンルを超えた47作家が
奄美大島「田中一村記念美術館」に
やどる10日間。
関連イベント
「アーティストトークセッション」
3月13日(日) 14:00-15:00
田中一村記念美術館 企画展示室
入場無料
JCDA

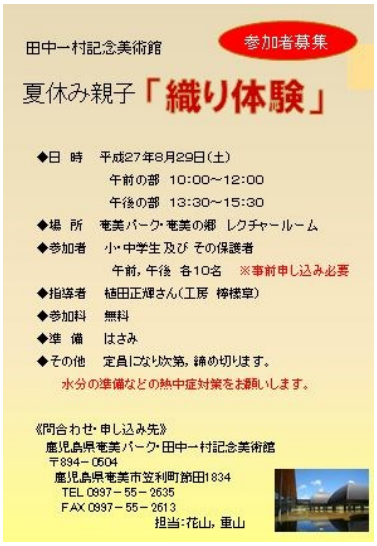
県美展
奄美関連作家展
平成 27 年
6.7～6.28
フロアトーク：6.7 (日) 14：00～
【洋画】
【写真】
田中一村記念美術館 企画展示室
休館日 ： 6.17 (水)
開館時間 ： 9：00～18：00
最終日 ： 16：00 終了

田中一村記念
スケッチコンクール作品展
9月19日(土)～10月4日(日)
開館時間 9:00～18:00
最終日 16:00 終了
田中一村記念美術館 企画展示室
観覧無料
表彰式 9月26日(土)14:00 企画展示室
(田中一村記念美術館賞、優秀賞受賞者)
鹿児島県奄美パーク 田中一村記念美術館
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL:0997-55-2635 FAX:0997-55-2613

第14回
奄美を描く美術展
本展
会期：平成27年10月25日(日)～11月22日(日)
開館 午前9時 / 閉館 午後6時(最終日は午後4時)
《18日(水)休館日》 《観覧無料》
会場：鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館企画展示室
巡回展
会期：平成27年12月6日(日)～12月13日(日)
開館 午前9時 / 閉館 午後5時
会場：和泊町 西郷南洲記念館 《観覧無料》

龍郷町立小・中学校
図画工作・美術学習発表展
会期：平成27年11月29日(日)～12月13日(日)
開館 午前9時 / 閉館 午後6時(最終日は午後4時)
《12月2日(水)休館日》 《観覧無料》
会場：鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館企画展示室
参加校
小学校
秋名小学校
円小学校
大勝小学校
戸口小学校
龍郷小学校
赤徳小学校
龍瀬小学校
中学校
赤徳中学校
龍北中学校
龍南中学校


創作体験教室
楽しい絵画教室「奄美を描こう」
1 目 的 夏や日本画水彩教具を使って絵を描く活動を通して、日本画の特徴や表現することの楽しさを味わう。
2 日 時 平成27年5月24日(日)
10:00～16:00(昼食をはさむ)
3 場 所 鹿児島県奄美パーク 奄美の郷 レクチャールーム
4 講 師 西村 恵津(当美術館初代学芸専門員、鹿児島県立川辺高等学校講師)
5 参加者 高校生以上(定員20名) 要申込
6 参加費 無料
7 活動内容
(1) 制作の手順、日本画の特徴等を知る。
(2) 題材を決める。
(3) 下がきをする。(木炭であたりをとる。)
(4) 墨で輪郭をかく。
(5) 日本画水性教具で彩色する。
8 準 備 秋の題材となる植物、官製ハガキ(1～2枚程度)、台紙を、奏者
筆や使用教具、傘、教具箱、墨液、水入れ、画用紙、木炭は美術館が用意します
9 申込方法 4月20日(水)から受付を開始いたしますので、下記まで電話かFAXにてお申し込みください。定員になり次第、締め切ります。
10 連絡先(申込先) 鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
〒894-0504
鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL 0997-55-2635
FAX 0997-55-2613
担当：花山、重山


田中一村記念美術館
参加者募集
夏休み親子「織り体験」
◆日 時 平成27年8月29日(土)
午前の部 10:00～12:00
午後の部 13:30～15:30
◆場 所 奄美パーク・奄美の郷 レクチャールーム
◆参加者 小・中学生及び その保護者
午前、午後 各10名 ※事前申し込み必要
◆指導者 植田正輝さん(工房 椰樣草)
◆参加料 無料
◆準 備 はさみ
◆その他 定員になり次第、締め切ります。
水分の準備などの熱中症対策をお願いします。
《問合わせ・申し込み先》
鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
〒894－0504
鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL 0997－55－2635
FAX 0997－55－2613
担当：花山、重山

田中一村記念美術館
参加者募集
「田中一村作品鑑賞会」
◆日 時 平成27年9月6日(日)
10:00～12:00
◆場 所 田中一村記念美術館
(奄美の郷 レクチャールーム)
◆参加者 小学校4年生以上(～中高生、大人)の希望者
(親子も可)(定員30名)
◆講 師 花山勝治(当美術館学芸専門員)
◆参加料 無 料
◆備 考 ☆参加者は無料で一村作品を観覧できます。
☆事前に電話でお申し込みください。
定員になり次第締め切ります。
☆詳しくは、下記までお問合せください。
◆問い合わせ・申込み先
鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
〒894－0504
鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL 0997－55－2635
FAX 0997－55－2613
担当：花山、重山

田中一村記念美術館
創作体験教室「人物画講座」
◆内 容 油彩や水彩による人物画の作品制作
◆日 時 平成28年2月27日(土)、28日(日)
10:00～16:00(昼食12:00～13:00)
◆場 所 田中一村記念美術館 企画展示室
◆対 象 高校生以上
◆定 員 18名(両日参加できる方) 要申込
◆指導者 西 健吉(二科会鹿児島支部長、鹿児島県美術協会会員)
◆参加料 無料
◆準 備 F8号～F15号のキャンバスもしくは紙を貼ったパネル、スケッチブック、油彩画もしくは水彩画の道具、鉛筆や木炭などの描画材、敷物(新聞紙やレジャーシート)、筆拭き等の布、昼食
※イーゼル、カルトンは美術館で用意します。
◆申込方法 1月27日(水)から受付を開始いたしますので、下記まで電話かFAXにてお申し込みください。定員になり次第、締め切ります。
◆連絡先 鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
(申込先) 〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
TEL 0997-55-2635
FAX 0997-55-2613
担当：花山、重山

奄美パーク応援隊
募集
鹿児島県
奄美パーク
TEL 0997-53-2333 FAX 0997-55-2612
HP http://www.amamipark.com/
BLOG http://ap129.amamin.jp/

# 第６　奄美パーク応援隊について

（１）結成目的

奄美パークの活動を支援し，魅力ある施設実現の一助とし，ひいては奄美群島の観光振興に寄与することを目的とする。

（２）隊員数

５９名（平成２８年３月３１日現在）

（３）年間活動回数（延数）

１７４回（平成２８年３月３１日現在）

（４）活動内容

奄美パーク応援隊は，施設内のガイドを目的に平成１５年度に発足した。平成１８年度には，展示案内ガイド，手熟ガイド，園芸サポーター，一村サポーターと４つの分科会を設けたものの，それぞれの活動頻度が異なり，分科会によっては活動実績がほとんどない状況にあり，再度，活動のあり方を見直し，平成２６年度から分科会を廃止した。

応援隊の活動は，展示案内，手熟（三味線やしまうた等）の披露，園芸作業，一村館のサポートと４つの内容で構成されており，隊員はそれぞれ得意な分野や興味のある分野を中心に参加している。隊員にはボランティア活動保険への加入と，原則，年に２回以上の活動を義務付けている。また，隊員が必要な知識を自主的，継続的に学習できるように登録証を発行し，応援隊の活動時以外であっても登録証を提示することで，奄美パークの有料ゾーンに無料で入場できる取り扱いとしている。

なお，連絡を密にするため，事務局は月に一度，活動の予定や奄美パークの行事予定，活動報告などを掲載した「応援隊通信」を発行し，すべての隊員へ配付している。

（５）活動実績

展示案内については，隊員が自ら伴ったお客様を中心に園内を案内するケースが多く見られた。

手熟の披露は，隊員がそれぞれの都合で来園し，あしびの庭の茅葺民家周辺でしま唄や三味線の弾き方，指笛，チヂンのリズムなどを来園者へ披露し，好評を博していた。

園芸作業は，月に１回ないし２回の作業日を設け，２階テラスの花壇を中心に手入れを行った。雑草で覆われていた花壇を半年間かけて整備し，奄美の気候や風土に合った植物や季節の植物を栽培することで，テラスへ訪れた来園者を色とりどりの植物で迎えることができた。

そのほか，平成２３年３月からの有志による月２回の六調三線の練習も続いており，その成果を披露する機会ともなる団体客の見送りは高い評価を得ていた。

# 鹿児島県奄美パーク

# 事業報告書

# リ ー フ

第 14 号

2016年4月発行

編集・発行　奄美群島広域事務組合

鹿児島県 ■奄美の郷 ■田中一村記念美術館

奄美パーク

〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
Tel:0997-55-2333 Fax:0997-55-2612
HP http://www.amamipark.com/
BLOG http://ap129.amamin.jp/